

庄内川洪水予報連絡会規約の一部改訂

令和6年6月10日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

(洪水予報連絡会 編)

■庄内川洪水予報連絡会規約(案).....	1
-----------------------	---

庄内川洪水予報連絡会規約(案)

庄内川洪水予報連絡会規約

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は「庄内川洪水予報連絡会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は水防法及び気象業務法に基づき国土交通省と気象庁が共同して行う庄内川の洪水予報業務に資するため、庄内川水系内各官公庁及び諸団体の間に気象、水位などの迅速確実な連絡を図りもって水害の予防及び軽減を図ることを目的とする。

(組 織)

第3条 本会は、庄内川水系内関係官公庁及び諸団体をもって構成する。

(事 業)

第4条 本会は第2条の目的を達成するために下記の事業を行う。

1. 庄内川洪水予報業務として実施する観測通報、予報の連絡に協力すること。
2. 庄内川洪水予報に関する調査研究に協力すること。
3. 会員相互の密接な連絡をはかること。
4. 水防に関する知識の普及をはかること。
5. その他、本会の目的を遂行するために必要と認められる事項。

第2章 役 員

(役 員)

第5条 本会は下記の役員を置く。

- | | |
|--------|-----|
| 1. 会 長 | 1 名 |
| 2. 副会長 | 1 名 |
| 3. 委 員 | 若干名 |
| 4. 幹事長 | 1 名 |
| 5. 幹 事 | 若干名 |

(会 長)

第6条

1. 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
2. 会長は中部地方整備局庄内川河川事務所長をもってこれにあてる。

(副会長)

第7条

1. 副会長は会長を補佐し、会長の事故あるときは、その職務を代行する。
2. 副会長は名古屋地方気象台長をもってこれにあてる。

(委 員)

第8条

1. 委員は会務を評議する。
2. 委員は関係官公庁及び諸団体の長又はその推薦によるもののうちから、会長がこれを委嘱する。

(幹事長)

第9条

1. 幹事長は会務を処理する。
2. 幹事長は中部地方整備局庄内川河川事務所事業対策官をもってこれにあてる。

(幹 事)

第10条

1. 幹事は会務の企画及び相互連絡にあたる。
2. 幹事は委員の推薦する者の内から会長がこれを委嘱する。

第3章 運 営

(委員会)

第11条

1. 本会の運営は委員会の決議による。
2. 委員会は毎年出水期前及び会長が必要と認められたとき、会長が招集し会務を評議する。
3. 委員会の議長は会長をこれにあてる。

(幹事会)

第12条 幹事会は幹事長が必要と認めたとき幹事長が招集し会務の企画にあたる。

(事務局)

第13条

1. 本会の事務局は中部地方整備局庄内川河川事務所流域治水課内に置く。
2. 事務局職員は庄内川河川事務所職員及び名古屋地方気象台職員のうちから洪水予報担当者をもって充てる。
3. 事務局職員は幹事長の指示をうけ本会の事務を処理する。

第4章 雑 則

(規約の改正)

第14条 本規約の変更は委員会の決議によらなければならない。

(付 則)

第15条 この規約は平成27年5月12日から実施する。

(規約改正の経緯)

平成3年3月14日	施 行
平成3年4月26日	(一部改正)
平成13年4月18日	(一部改正)
平成14年4月17日	(一部改正)
平成15年4月23日	(一部改正)
平成20年4月23日	(一部改正)
平成21年4月23日	(一部改正)
平成26年5月8日	(一部改正)
平成27年5月12日	(一部改正)
令和5年6月14日	(一部改正)
令和6年6月10日	(一部改正)

庄内川洪水予報連絡会 役員名簿

会長

国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所長

副会長

名古屋地方気象台長

委員

岐阜県県土整備部長
岐阜県危機管理部長
愛知県建設局長
愛知県防災安全局長
多治見市水防管理者（多治見市長）
土岐市水防管理者（土岐市長）
名古屋市水防管理者（名古屋市長）
瀬戸市水防管理者（瀬戸市長）
春日井市水防管理者（春日井市長）
小牧市水防管理者（小牧市長）
稲沢市水防管理者（稲沢市長）
清須市水防管理者（清須市長）
北名古屋市水防管理者（北名古屋市長）
あま市水防管理者（あま市長）
豊山町水防管理者（豊山町長）
大治町水防管理者（大治町長）
蟹江町水防管理者（蟹江町長）
海部地区水防事務組合管理者（弥富市長）
岐阜地方気象台長

幹事長

国土交通省中部地方整備局
庄内川河川事務所事業対策官

幹事

岐阜県県土整備部河川課長
岐阜県危機管理部防災課長
愛知県建設局河川課長
愛知県防災安全局防災部災害対策課長
名古屋市緑政土木局河川工務課長
名古屋市防災危機管理局危機対策課長
岐阜地方気象台防災管理官
名古屋地方気象台防災管理官
陸上自衛隊第10師団 第10師団司令部第2部長
中部管区警察局総務監察・広域調整部長
愛知県警察本部警備部長
岐阜県警察本部警備部長

庄内川洪水予報計画について

令和6年6月10日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

(洪水予報連絡会 編)

■庄内川洪水予報計画・・・・・・・・・・・・・・・・	1
■庄内川洪水予報実施要領・・・・・・・・・・・・・・・・	7
■臨時の洪水予報の運用・・・・・・・・・・・・・・・・	21
■水防水位情報発信時期・・・・・・・・・・・・・・・・	24
■洪水予報の発表イメージ・・・・・・・・・・・・・・・・	26

庄内川洪水予報計画

庄内川洪水予報計画

1. 洪水予報を行う区域（平成 20 年国土交通省 告示第 775 号）

水系名	河川名	区域
庄内川	庄内川	左岸 岐阜県土岐市肥田町浅野字トチモト807番3地先 右岸 岐阜県土岐市泉町河合字中屋敷532番1地先 の三共橋から海まで
	矢田川	左岸 愛知県名古屋市中区砂田橋2丁目105番1地先 右岸 愛知県名古屋市中区更屋敷101番地先 の宮前橋から庄内川への合流点まで

2. 洪水予報に関する基準地点

水系名	河川名	基準地点	地先名	河口より の距離 (km)	水防団 待機水位 (m)	氾濫 注意水位 (m)	避難 判断水位 (m)	氾濫 危険水位 (m)
庄内川	庄内川	土岐	土岐市土岐津町高山	左岸 57.8	2.40	3.00	4.50	4.70
		多治見	多治見市豊岡町	右岸 49.1	2.50	3.20	5.30	5.60
		志段味	名古屋市中区中志段味	左岸 32.7	3.40	4.60	5.90	6.40
		枇杷島	清須市西枇杷島町小田井	右岸 15.7	4.60	5.60	8.50	8.90
	矢田川	瀬古	名古屋市中区川西	右岸 3.6	2.80	3.30	5.20	5.50

3. 洪水予報担当官（平成 14 年国土交通省 告示第 256 号）

水系名	河川名	担当官署	発表責任者
庄内川	庄内川	中部地方整備局庄内川河川事務所 名古屋地方気象台	中部地方整備局庄内川河川事務所長 名古屋地方気象台長

4. 洪水予報の標題（種類）と基準

（1）氾濫注意情報（種類：洪水注意報）

いずれかの基準地点の水位が、氾濫注意水位（警戒水位）に到達し、さらに水位上昇が見込まれるとき発表する。

（2）氾濫警戒情報（種類：洪水警報）

いずれかの基準地点の水位が、氾濫危険水位（危険水位）を超える恐れがあるとき、もしくは避難判断水位を超え、なお水位上昇が見込まれるとき発表する。

(3) 氾濫危険情報（種類：洪水警報）

いずれかの基準地点の水位が、氾濫危険水位（危険水位）に到達したとき発表する。

(4) 氾濫発生情報（種類：洪水警報）

堤防からの越水または破堤が起こり、河川水による浸水が確認されたとき発表する。

庄内川洪水予報観測要領

1. 観測目的

全般気象状況並びに流域内の雨量及び水位(流量)の観測に基づき、庄内川水系の雨量及び水位(流量) 予報(実況を含む)を実施し、もって水害の防止並びに軽減を図ることを目的とする。

2. 観測要領

- (1) 名古屋地方気象台は、庄内川水系に洪水が起こるおそれがあるときは、全般気象状況及び各河川流域の雨量情報により、雨量予測を行う。
- (2) 庄内川河川事務所並びに名古屋地方気象台は、全般気象状況及び雨量並びに水位(流量)観測に基づき、共同して庄内川洪水予報を行う。

3. 雨量及び水位(流量)観測所

(1) 雨量

- 1) 国土交通省所属観測所(テレメータ観測所〔河川情報システム〕)

河川名	観測所名	通報方式	観測所の管理
庄内川 (土岐川)	山岡	テレメータ	庄内川河川事務所
	小里川ダム	〃	〃
	論析	〃	〃
	日吉	〃	〃
	瑞浪	〃	〃
	大川	〃	〃
	妻木	〃	〃
	多治見	〃	〃
	三国山	〃	〃
	高蔵寺	〃	〃
	名古屋	〃	〃
	瀬戸	〃	〃
	岩作	〃	〃
合計	13箇所		

※灰色：小里川ダム管内

2) 気象庁所属観測所(テレメータ観測所〔アメダス〕)

河川名	観測地点	観測所名		通報方式	観測所の管理
庄内川	多治見	多治見	地域気象観測所	有線テレメータ	岐阜地方気象台
合計	1箇所				

雨量観測所内訳

河川名	国土交通省 河川情報システム	気象庁 アメダス	合計
庄内川	13	1	14
合計	13	1	14

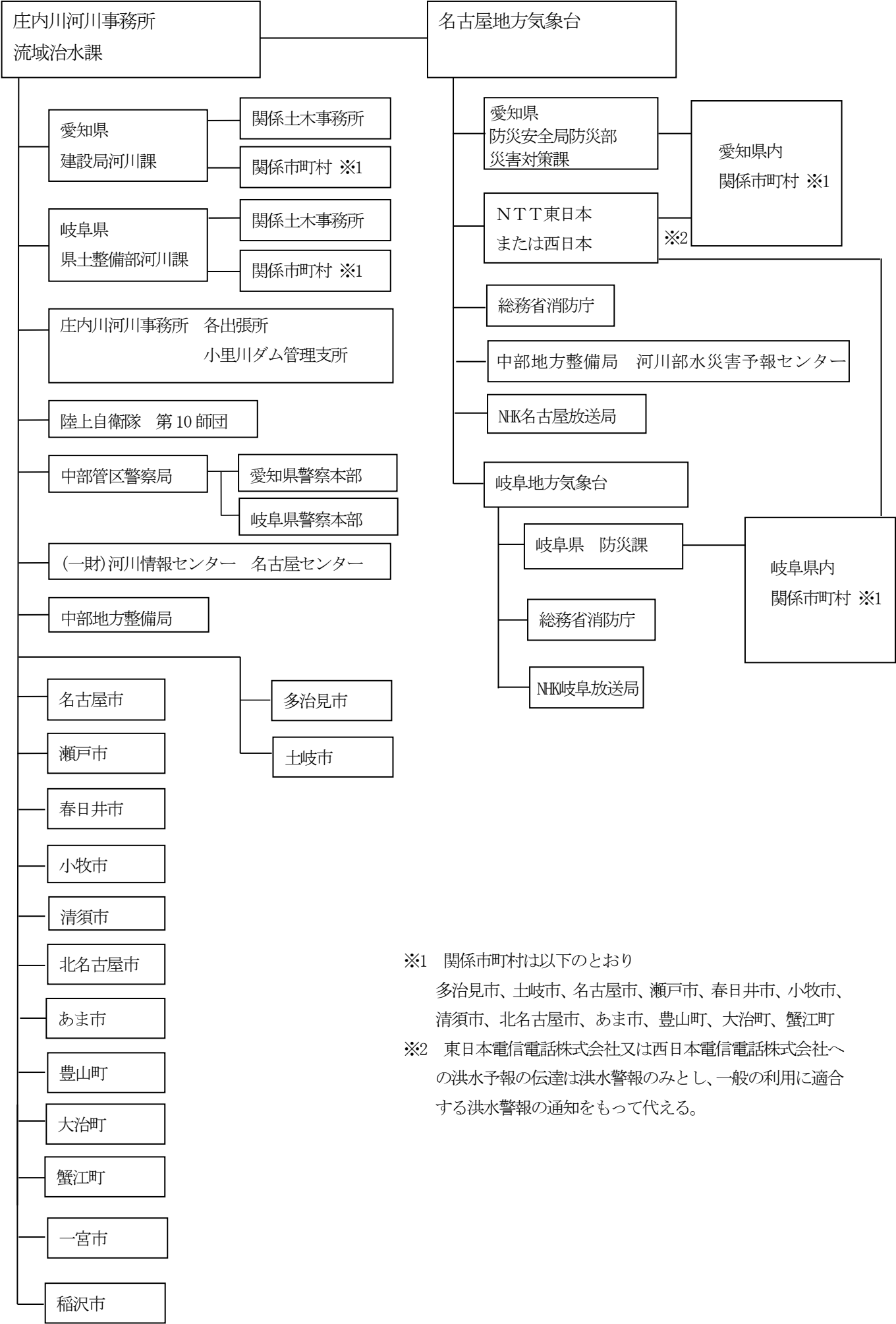
(2) 水位

1) 国土交通省所属観測所(テレメータ観測所〔河川情報システム〕)

河川名	観測所	基準水位 (m)		通報方式	観測所の管理
		水防団待機水位	氾濫注意水位		
庄内川 (土岐川)	市原	—	—	テレメータ	庄内川
	瑞浪	—	—	〃	〃
	土岐	2.40	3.00	〃	〃
	多治見	2.50	3.20	〃	〃
	志段味	3.40	4.60	〃	〃
	味鋺	—	—	〃	〃
	洗堰	—	—	〃	〃
	小田井 (越流堤)	—	—	〃	〃
	枇杷島	4.60	5.60	〃	〃
	枇杷島橋	—	—	〃	〃
	当知	—	—		
矢田川	瀬古	2.80	3.30	〃	〃
	岩作	—	—	〃	〃
合計	13箇所				

※灰色：小里川ダム管内

庄内川洪水予報連絡系統図



※1 関係市町村は以下のとおり
多治見市、土岐市、名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、
清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町、蟹江町

※2 東日本電信電話株式会社又は西日本電信電話株式会社へ
の洪水予報の伝達は洪水警報のみとし、一般の利用に適合
する洪水警報の通知をもって代える。

庄内川洪水予報実施要領

庄内川洪水予報実施要領

中部地方整備局庄内川河川事務所（以下「庄内川河川事務所」という。）と名古屋地方気象台は、「庄内川洪水予報業務に関する細目協定（令和4年6月13日）」（以下、「細目協定」という。）に基づき、庄内川洪水予報業務について次のとおり実施要領を定める。

なお、臨時の洪水予報については、別紙に定めるとおり運用する。

1 洪水予報の作業場所

洪水予報作業は庄内川河川事務所及び、名古屋地方気象台において実施するものとする。

2 洪水予報を行う際に用いる資料

庄内川における流域内の気象庁雨量観測所、国土交通省雨量・水位観測所の所在は付表1、配置図は付図1のとおりとする。

3 洪水予報を行う際の連絡

洪水予報作業に関する連絡は原則として、庄内川河川事務所においては流域治水課長等、名古屋地方気象台においては予報官又は水害対策気象官が行うものとする。

連絡方法については、庄内川河川事務所と名古屋地方気象台間にオンラインで接続された情報処理システム（以下、「情報システム」という。）又は、電話・FAXによるものとする。

4 洪水予報の伝達

洪水予報の伝達先及び伝達系統は、それぞれ付表2、付図2のとおりとする。

5 洪水予報作業の開始及び終了の時期

(1) 洪水予報作業の開始時期は、以下のいずれかの場合に双方が協議のうえ決定する。

ア 付表3に示すいずれかの流域平均雨量が、表に示す基準値以上となり、引き続きかなりの降雨量が予想されるとき

イ 付表1（3）に示すいずれかの基準観測所の水位が水防団待機水位を超え、引き続きかなりの増水が予想されるとき

ウ その他、洪水予報の必要が認められ、一方から要求があったとき

(2) 洪水予報作業の終了時期は、洪水による危険がなくなったと認められるとき、双方が協議のうえ決定する。

6 洪水予報の発表

(1) 洪水予報には、標題、洪水予報番号、種類、発表日時、発表官署名、見出し、主文及び問い合わせ先を記載することとし、必要に応じ、雨量、水位、注意事項、参考資料等を記載することとする。

- (2) 具体的な発表形式は、付図3の発表形式イメージを基本とするが、詳細の文言は必要に応じて変更できるものとする。また、緊急に発表が必要なときは、適宜予報文を簡略化するなど、迅速な発表につとめるものとする。
- (3) 必要に応じ、予報文を補足する参考資料を、双方で協議の上添付することとする。
なお、その際の電子データのサイズの上限は300kB までとする。
- (4) 洪水予報番号は細目協定に定めた予報区域ごと、洪水ごとに一連番号とし、洪水予報の解除を最終番号とする。
- (5) 予報文の作成にあたっては、相互に密接な連絡を保ちつつ、洪水予警報等作成システムを用いるものとする。
- (6) 庄内川において、付表1（3）に示すいずれかの基準観測所で発表基準となった場合に発表（切替を含む。）を行うものとし、その際、最も危険度の高い基準観測所の水位を基に、洪水予報の種類及び情報名を選定するものとする。
- (7) 発表した予報文に誤りがあった場合は、すみやかに新たな予報文を発表する。その際、発表日時は新たに発表した日時とし、洪水予報番号は誤りがあった予報文の洪水予報番号を1つ繰り上げた番号とする。また、必要に応じ、訂正した箇所について簡潔に注意事項に記載する。

なお、洪水予報の発表にあたり都道府県防災部局や報道機関等へは気象台等からXML 形式で情報が提供されていることを念頭に、8. に述べる情報システムの障害時を除き、FAX を用いるなどの変則的な運用は行わないことを徹底する。

7 洪水予報の発表基準

洪水予報の発表基準は、細目協定に基づくものとし、具体的な水位の基準は、付表1（3）のとおりとする。

なお、氾濫危険水位に到達していない場合で、氾濫する可能性のある水位への到達を3時間先までに予測した場合は、氾濫危険情報を発表する。また、これを除く条件で、避難判断水位に達していない場合で、氾濫危険水位の到達を4時間先以降に予測した場合は、60分の間、初期値が変わっても氾濫危険水位に達する予測に変わりないことを確認した上で、氾濫警戒情報を発表する。

8 情報システム障害時及び、作業場所の機能喪失時の措置

(1) 情報システムの障害時においては、以下の要領で作業を行う。

- ① 洪水予報作業に用いる資料の交換は、付表4の種類について、FAX 又は電話等により、必要に応じ適宜行うものとする。
- ② 障害等により、通常の作業手順で洪水予報文を作成できない場合には、原則として洪水予警報等システムのマニュアルに従い対応するものとする。

なお、洪水予警報等システムのマニュアルで対応できない場合は、庄内川河川事務所において緊急版の作業用紙を用いて洪水予報文を作成する。この場合、FAX 等により名古屋地方気象台に予報文案を送信し、相互で確認・決裁等を行う。

- ③ 障害時の予報文の部外機関への伝達については、庄内川河川事務所及び名古屋地方気象台のそれぞれが定める方法により、確実に行うものとする。

(2) 洪水予報の作業場所の機能喪失においては、以下の要領で作業を行う。

- ① 機能喪失した庄内川河川事務所で実施すべき作業を、中部地方整備局の本局・他事務所（連絡先は付表５）で代行する。
- ② 機能喪失した気象台で実施すべき作業を、気象庁の他官署（連絡先は付表５）で代行する。

９ その他

- （１） 洪水予報を円滑に実施するため、双方で定期的に対向試験を行い、習熟を図るものとする。
- （２） 本要領の内容を変更する必要がある場合、又は本要領に定めていない事項について一方から申し入れがあった場合には速やかに協議する。

１０ 付 則

この実施要領は、令和４年６月１３日から施行する。

また、本実施要領の実施に伴い「庄内川洪水予報実施要領」（令和３年６月１日）は廃止する。

令和４年６月１０日

中部地方整備局 庄内川河川事務所 流域治水課長

板倉 舞

名古屋地方気象台

防災管理官

山浦 一晃

付表1 庄内川における流域の雨量・水位観測所及び基準水位

(1) 気象庁雨量観測所

流域	観測所名		所在地	標高 m
庄内川	多治見	たじみ	岐阜県多治見市光ヶ丘	1 2 0

(2) 国土交通省雨量観測所

流域	観測所名		所在地	標高 m
庄内川	論析	ろんとち	岐阜県瑞浪市釜戸町論析	3 6 0
	山岡	やまおか	岐阜県瑞浪市山岡町上手向	4 5 6
	大川	おおかわ	岐阜県瑞浪市陶町大川	3 3 5
	瑞浪	みずなみ	岐阜県瑞浪市土岐町	1 6 0
	日吉	ひよし	岐阜県瑞浪市日吉町南垣外	2 5 1
	妻木	つまぎ	岐阜県土岐市妻木町万場	1 7 1
	多治見	たじみ	岐阜県多治見市豊山町	9 8
	三国山	みくにやま	岐阜県土岐市鶴里町柿野	7 0 1
	瀬戸	せと	愛知県瀬戸市品野町	1 6 3
	高蔵寺	こうぞうじ	愛知県春日井市高森台	1 4 0
	岩作	やさこ	愛知県長久手市先達	5 8
	名古屋	なごや	愛知県名古屋市北区福德町	1 5

(3) 国土交通省水位観測所（基準観測所）

河川	観測所名		位置	所在地	水防団 待機水位 (通報水位) m	氾濫注意水 位 (警戒水位) m	避難判断 水位 m	氾濫 危険水位 m	氾濫する可能 性のある水位 m
					レベル1 水位	レベル2 水位	レベル3 水位	レベル4 水位	
庄内川	枇杷島	びわ じま	北緯 35° 12' 09" 東経 136° 52' 30"	愛知県清須市西 枇杷島町小田井	4.60	5.60	8.50	8.90	10.37
	志段味	しだ み	北緯 35° 15' 06" 東経 137° 01' 07"	愛知県名古屋市中 守区中志段味	3.40	4.60	5.90	6.40	7.21
	多治見	たじ み	北緯 35° 20' 03" 東経 137° 07' 37"	岐阜県多治見市 豊岡町	2.50	3.20	5.30	5.60	6.52
	土岐	とき	北緯 35° 21' 27" 東経 137° 11' 24"	岐阜県土岐市土 岐津町高山	2.40	3.00	4.50	4.70	5.65
	瀬古	せこ	北緯 35° 12' 36" 東経 136° 55' 44"	愛知県名古屋市中 守区川西	2.80	3.30	5.20	5.50	6.31

付表2 洪水予報の伝達先等

(1) 庄内川河川事務所

伝 達 先	伝 達 方 法	電 話 ・ F A X 番 号
愛知県河川課	F A X 又は専用電話	TEL マイクロ 85-739-1552 FAX 052-953-1457
岐阜県河川課	〃	TEL 058-272-8603 FAX 058-278-2753
中部地方整備局河川部 水災害予報センター	〃	TEL マイクロ 85-3803 FAX マイクロ 85-3785
中部管区警察局	〃	TEL 052-951-6000(内 5511) FAX 052-954-8880
陸上自衛隊第10師団 第10師団司令部	〃	TEL 052-791-2191(内 4224) FAX 052-791-2191(内 4229)
(一財)河川情報センター	〃	TEL マイクロ 85-718-21, 22, 26 FAX マイクロ 85-718-60
名古屋市	〃	TEL 052-972-3522 FAX 052-962-4030
一宮市	〃	TEL 0586-28-8959 0586-28-8642 FAX 0586-73-9212 0586-73-9217
瀬戸市	〃	TEL 0561-88-2600 FAX 0561-21-6607
春日井市	〃	TEL 0568-85-6072 FAX 0568-83-9988
小牧市	〃	TEL 0568-76-1171 FAX 0568-41-3779
稲沢市	〃	TEL 0587-32-1275 FAX 0587-32-1158
清須市	〃	TEL 052-400-2911 FAX 052-400-2963
北名古屋市	〃	TEL 0568-22-1111(内 2208) FAX 0568-26-4100
あま市	〃	TEL 052-444-0862 FAX 052-441-8330
豊山町	〃	TEL 0568-28-0355 FAX 0568-29-1177
大治町	〃	TEL 052-444-2711(内151) FAX 052-443-4468
蟹江町	〃	TEL 0567-95-1111 FAX 0567-95-9188
多治見市	〃	TEL 0572-22-1378 FAX 0572-24-0621
土岐市	〃	TEL 0572-54-1111 FAX 0572-53-0020

(2) 名古屋地方気象台

伝 達 先	伝 達 方 法	担 当 官 署
岐阜地方気象台	気象情報伝送処理システム	名古屋地方気象台
岐阜県防災課	〃	名古屋地方気象台 (岐阜地方気象台経由)
NHK岐阜放送局	〃	名古屋地方気象台 (岐阜地方気象台経由)
愛知県防災安全局防災部災害対策課	〃	名古屋地方気象台
中部地方整備局河川部 水災害予報センター	〃	〃
NHK名古屋放送局	〃	〃
西日本電信電話株式会社 又は 東日本電信電話株式会社 ※	〃	〃
総務省消防庁	〃	〃

※ 西日本電信電話株式会社又は東日本電信電話株式会社への洪水予報の伝達は洪水警報のみとし、一般の利用に適合する洪水警報の通知をもって代える。

※ 報道機関については、上に記載した日本放送協会のほか、その他の民間放送局及びラジオ放送局へ別途気象庁システムにより配信している。

付表3 洪水予報作業の開始基準雨量

次の基準観測所上流域の流域平均雨量を基準とする。

予報区域	基準観測所	基準雨量	
		3時間雨量 (mm)	12時間雨量 (mm)
庄内川	志段味水位観測所上流域	40 (実況)	
	枇杷島水位観測所上流域	40 (実況)	
	土岐水位観測所上流域	30 (実況)	60 (実況)
矢田川	瀬古水位観測所上流域	40 (実況1時間、予測2時間をいいる)	

付表4 情報システム障害時に交換する資料

- (1) 名古屋地方気象台から庄内川河川事務所に通報するもの
 - ア 愛知県地方に発表された注意報・警報 (水防活動用)
 - イ 気象情報 (大雨、台風、低気圧、梅雨等)
 - ウ 解析雨量
 - エ 降水短時間予報
 - オ 洪水予報基準地点水位観測所上流域の流域平均雨量 (前1時間実況、6時間先までの特別予測)
- (2) 庄内川河川事務所から名古屋地方気象台に通報するもの
 - ア 次の観測所の雨量 (前1時間実況)
庄内川流域内雨量観測所
 - イ 次の観測所の水位 (実況)
庄内川流域内水位観測所

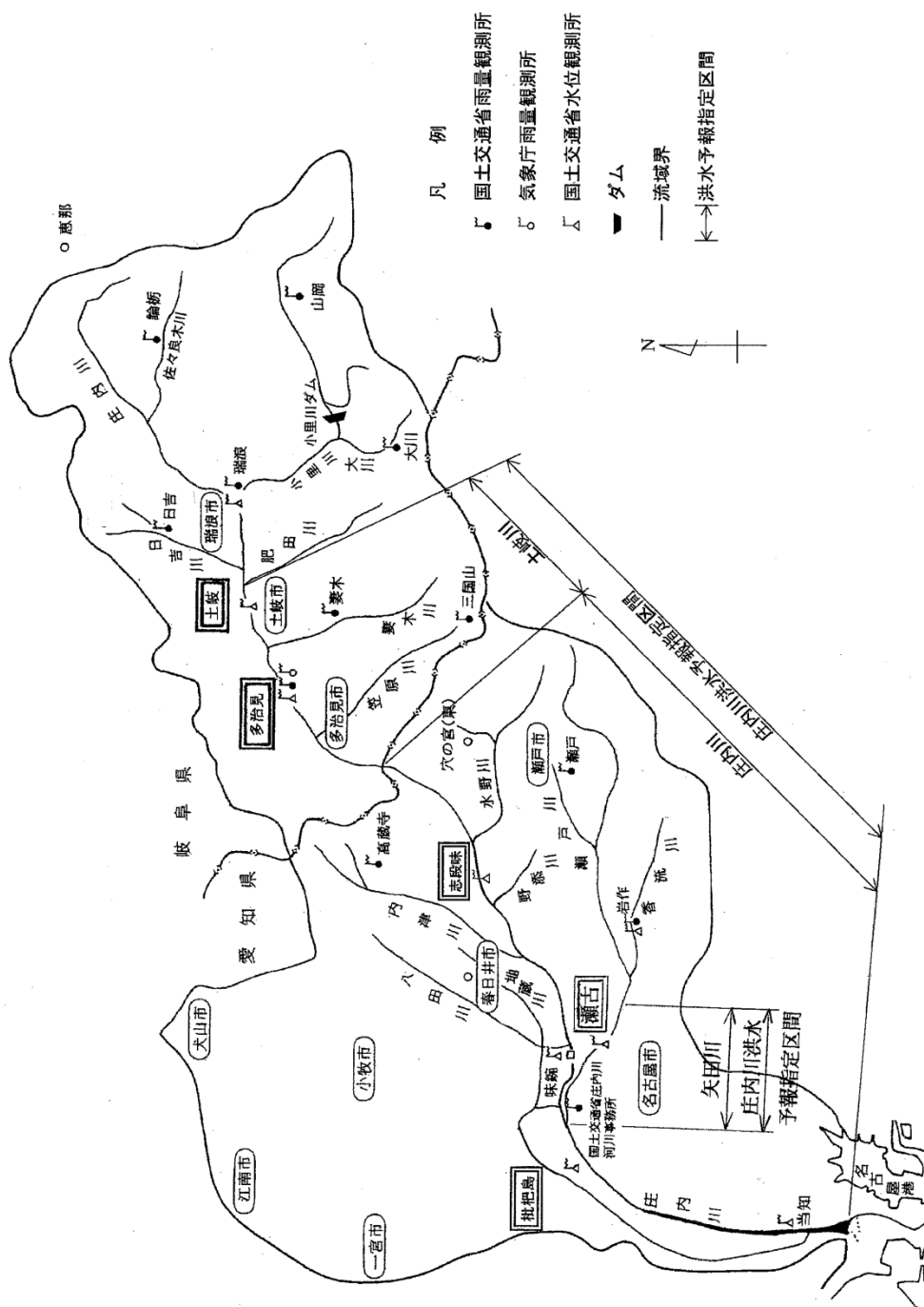
付表5 代行作業担当官署の連絡先

中部地方整備局 河川部 水災害予報センター 052-953-8158

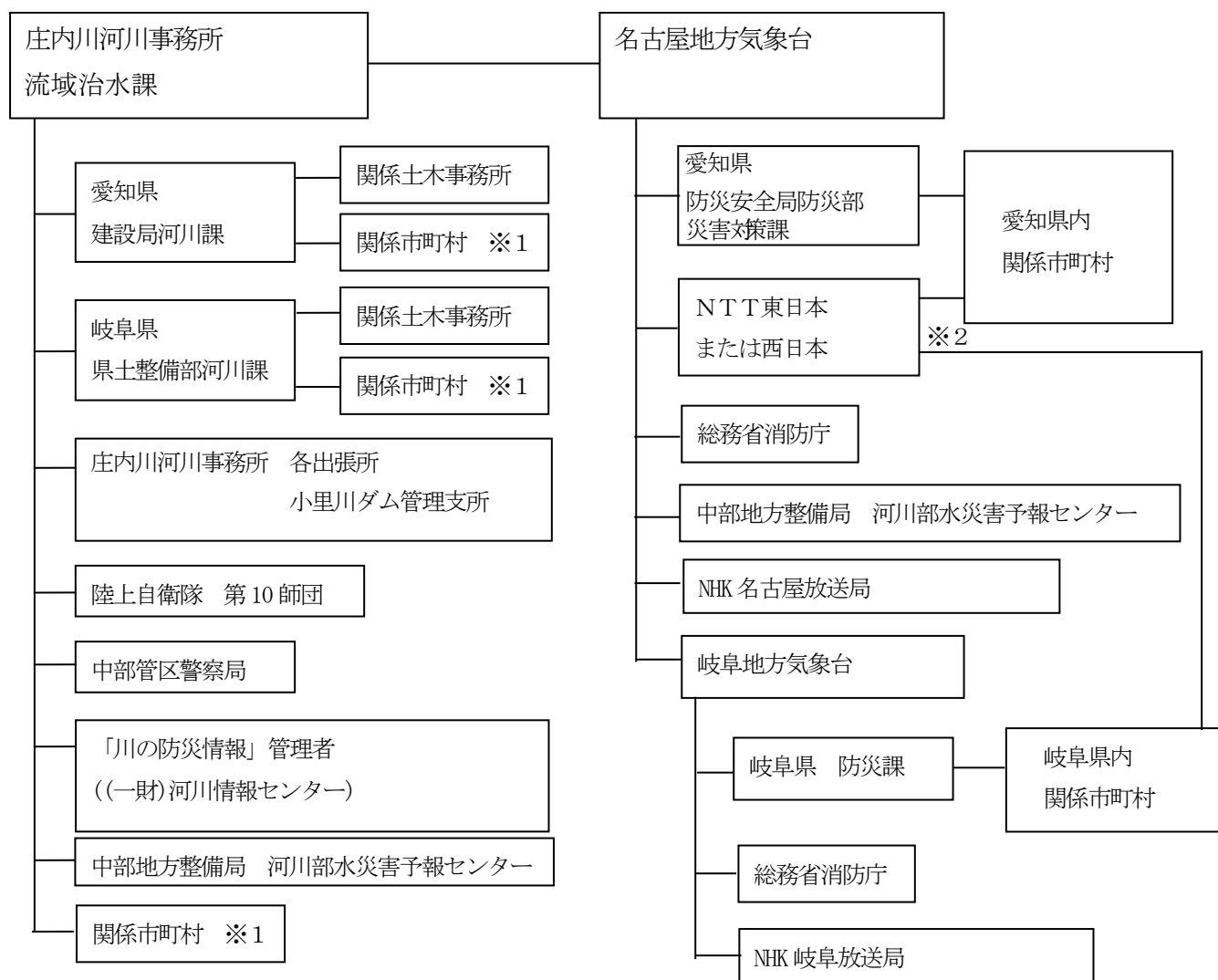
代行作業担当部署	作業場所と連絡先
気象庁大気海洋部予報課	気象防災オペレーションルーム 連絡責任者 気象監視・警報センター所長 電話 03-3584-8631 ファックス 03-3434-9103

※気象庁側の障害規模に応じて、上記以外の官署が代行する可能性があり、その場合は、その都度、気象庁側から庄内川河川事務所に対し、連絡するものとする。

付図 1 雨量・水位観測所配置図



付図2 伝達系統図



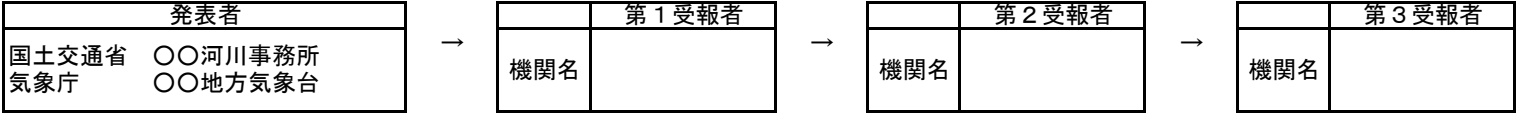
※1 関係市町村は以下のとおり

多治見市、土岐市、名古屋市、一宮市、瀬戸市、春日井市、小牧市、
稲沢市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町、蟹江町

※2 東日本電信電話株式会社又は西日本電信電話株式会社への洪水
予報の伝達は洪水警報のみとし、一般の利用に適合する洪水警報の
通知をもって代える。

※ 報道機関については、上に記載した日本放送協会のほか、その他の
民間放送局及びラジオ放送局へ、別途気象庁システムにより配信して
いる。

付図3 洪水予報の発表形式のイメージ



正規

しょうないがわ
庄内川氾濫注意情報

庄内川洪水予報第〇号
洪水注意報（発表）
令和〇〇年〇月〇日〇〇時〇〇分
しょうないがわかせんじむしょ なごやちほうきしょうだい
庄内川河川事務所・名古屋地方気象台 共同発表

（見出し）

【警戒レベル2相当情報〔洪水〕】^{しょうないがわ}庄内川では、氾濫注意水位に到達し、
今後、水位はさらに上昇する見込み

（主 文）

【警戒レベル2相当】^{しょうないがわ と き}庄内川の土岐水位観測所（^{と き し}土岐市）では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意して下さい。

【警戒レベル2相当】^{しょうないがわ し だ み}庄内川の志段味水位観測所（^{な ご や し}名古屋市）では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意して下さい。

【警戒レベル2相当】^{しょうないがわ び わ じ ま}庄内川の枇杷島水位観測所（^{き よ す し}清須市）では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意して下さい。

（雨量）

多いところで1時間に50ミリの雨が降っています。
この雨は今後一層強まるでしょう。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

(水位)

庄内川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル			
	水位(m)		レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4
			水防団 待機	氾濫 注意	避難 判断	氾濫 危険
と き 土岐 水位観測所 (土岐市)	00日00時00分の状況	XXX. X ↑				
	00日01時00分の予測	XXX. X				
	00日02時00分の予測	XXX. X				
	00日03時00分の予測	XXX. X				
	00日04時00分の予測	XXX. X				
	00日05時00分の予測	XXX. X				
	00日06時00分の予測	XXX. X				
た じ み 多治見 水位観測所 (多治見市)	00日00時00分の状況	—				
	00日01時00分の予測	—				
	00日02時00分の予測	—				
	00日03時00分の予測	—				
	00日04時00分の予測	—				
	00日05時00分の予測	—				
	00日06時00分の予測	—				
し だ み 志段味 水位観測所 (名古屋市)	00日00時00分の状況	XX. X ↑				
	00日01時00分の予測	XX. X				
	00日02時00分の予測	XX. X				
	00日03時00分の予測	XX. X				
	00日04時00分の予測	XXX. X				
	00日05時00分の予測	XXX. X				
	00日06時00分の予測	XXX. X				
び わ じ ま 枇杷島 水位観測所 (清須市)	00日00時00分の状況	XXX. X ↑				
	00日01時00分の予測	XXX. X				
	00日02時00分の予測	XXX. X				
	00日03時00分の予測	XXX. X				
	00日04時00分の予測	XXX. X				
	00日05時00分の予測	XXX. X				
	00日06時00分の予測	XXX. X				
せ こ 瀬古 水位観測所 (名古屋市)	00日00時00分の状況	—				
	00日01時00分の予測	—				
	00日02時00分の予測	—				
	00日03時00分の予測	—				
	00日04時00分の予測	—				
	00日05時00分の予測	—				
	00日06時00分の予測	—				

予測時間が長くなるほど不確実性が高まります。予測水位の値は今後変わることもあるため、今後も最新の発表をご確認ください。

水位のグラフは各水位間を按分したものです。

水位危険度レベル4は、「氾濫危険水位」と「氾濫する可能性のある水位」を按分しています。堤防の決壊等により「氾濫する可能性のある水位」に到達する前に氾濫することもあるため、この水位は避難行動開始の目安ではありません。

(参考資料)

(単位: 水位 (m))

観測所名	土岐水位観測所	多治見水位観測所	志段味水位観測所
	土岐市	多治見市	名古屋市
レベル4水位 氾濫危険水位※	4.70	5.60	6.40
レベル3水位 避難判断水位※	4.50	5.30	5.90
レベル2水位 氾濫注意水位	3.00	3.20	4.60
レベル1水位 水防団待機水位	2.40	2.50	3.40
受け持ち区間	土岐川	土岐川	庄内川
	左岸 土岐市	左岸 多治見市	左岸 名古屋市守山区・北区、瀬戸市
	右岸 土岐市	右岸 多治見市	右岸 春日井市、名古屋市北区・西区
氾濫が発生した場合の浸水想定区域	岐阜県土岐市一部、岐阜県多治見市一部	岐阜県多治見市一部	愛知県名古屋市北区庄内川・矢田川右岸ほぼ全域、愛知県名古屋市北区庄内川・矢田川の左岸一部、愛知県名古屋市西区ほぼ全域、愛知県名古屋市守山区一部、愛知県瀬戸市一部、愛知県春日井市一部、愛知県小牧市一部、愛知県清須市北西部の一部を除く全域、愛知県北名古屋市北部の一部を除く全域、愛知県あま市東部、愛知県豊山町南西部

観測所名	枇杷島水位観測所	瀬古水位観測所	
	清須市	名古屋市	
レベル4水位 氾濫危険水位※	8.90	5.50	
レベル3水位 避難判断水位※	8.50	5.20	
レベル2水位 氾濫注意水位	5.60	3.30	
レベル1水位 水防団待機水位	4.60	2.80	
受け持ち区間	庄内川	矢田川	
	左岸 名古屋市西区・中村区・中川区・港区	左岸 名古屋市東区・北区・西区	
	右岸 名古屋市西区・中川区・港区、清須市、あま市、大治町	右岸 名古屋市守山区・北区	

氾濫が発生した場合の浸水想定区域	愛知県名古屋市東区一部、 愛知県名古屋市北区、 庄内川・矢田川右岸のほぼ全域、 愛知県名古屋市北区、 庄内川・矢田川左岸一部、 愛知県名古屋市西区ほぼ全域、 愛知県名古屋市中村区ほぼ全域、 愛知県名古屋市中区一部、 愛知県名古屋市熱田区西部、 愛知県名古屋市中川区ほぼ全域、 愛知県名古屋市港区庄内川左岸北部及び庄内川右岸一部、 愛知県清須市北西部の一部を除く全域、 愛知県北名古屋市北西部の一部を除く全域、 愛知県あま市東部、 愛知県大治町ほぼ全域、 愛知県蟹江町一部、 愛知県一宮市一部、 愛知県稲沢市一部	愛知県名古屋市千種区一部、 愛知県名古屋市東区北部、 愛知県名古屋市北区矢田川左岸ほぼ全域及び矢田川右岸ほぼ全域、 愛知県名古屋市西区庄内川左岸ほぼ全域、 愛知県名古屋市中村区ほぼ全域、 愛知県名古屋市中区一部、 愛知県名古屋市熱田区西部、 愛知県名古屋市中川区庄内川左岸ほぼ全域、 愛知県名古屋市港区庄内川左岸北部、 愛知県名古屋市守山区一部	
------------------	--	---	--

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第1位危険箇所の

避難判断水位・氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位です。

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル4	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
レベル3	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル2	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報 水害リスクライン 気象庁ホームページ	パソコンから	携帯電話から
	https://www.river.go.jp https://frl.river.go.jp https://www.jma.go.jp/	

問い合わせ先

水位関係：国土交通省 庄内川河川事務所 災害対策室 電話：052-914-6713（内線）722456

気象関係：気象庁 名古屋地方気象台 電話：052-751-0909

臨時の洪水予報の運用

臨時の洪水予報の運用について

大雨特別警報の警報等への切替時に、洪水予報（臨時）として発表する河川氾濫に関する情報の当面の発表方法については以下のとおりとする。

1. 発表主体等

洪水予報指定河川の区域毎に定めた河川事務所等（地方整備局、河川事務所等）と気象台等（気象庁大気海洋部、管区気象台、地方気象台）が共同で発表する。本件の伝達先については、その他洪水予報と同様するが、現時点で洪水予警報システムでの対応ができないため、FAX、メール等を活用して伝達するものとする。

2. 発表のタイミング

大雨特別警報が発表されている府県予報区^{※1}において、特別警報が警報等へ切り替えられる際^{※2}に、国管理河川の予報区域において想定する氾濫域がその府県予報区に含まれる場合、速やかに発表するものとする。

なお、同一予報区域が想定する氾濫域が複数府県予報区に関係する場合は、切替の都度、発表することとするが、短時間で連続して切替となる場合はその旨を記載の上、まとめて発表して差し支えない。

※1 都府県を基本。ただし、北海道は複数の地方に分割。

※2 発表されている大雨特別警報は、大雨警報や大雨注意報に切り替えられるほか、すべて解除される場合などがある。

3. 発表の対象とする予報区域の条件

すべての国管理河川の予報区域うち、前述の発表のタイミングとなった際に、洪水予報を発表している予報区域を対象とする。

また、長大な河川の中下流部であるなど、ある程度の長期の見通しが技術的に可能な予報区域においては、洪水予報を発表していない場合であっても氾濫危険情報の発表が見通される場合は、河川氾濫に関する情報を発表する。

なお、洪水予報を発表している場合でも、避難判断水位を超過しておらず今後も氾濫危険水位を超過する見込みがない、あるいは、既に氾濫危険水位を下回り引き続き水位の低下が見込まれるなど危険な状況を脱したと判断される場合は対象としないこととしてよい。ただし、堤防の損傷等により水位のみで判断できない場合もあるので注意すること。

4. 発表内容

発表中の洪水予報を踏まえ、大雨特別警報が警報等に切り替えられた後にも河川氾濫の危険が迫っていることを広く周知する。

また、この際、6時間先までの水位予測のほか、長期の見通しが可能な予報区域においては、氾濫危険水位を超過する可能性及び超過すると思われる時間帯、水位・流量のピークとなる時間帯などについて参考情報として記載する。

なお、6時間先までの水位予測等については、既に氾濫が発生しているなどにより水位予測の精度が期待できないなども考えられるため、その他の事情を含めてやむを得ない場合は記載を省略してよい。

発表形式については、庄内川河川事務所と名古屋地方気象台が協議し、予報区域毎の発表形式を準備しておく。

5. その他

発表のタイミング、対象とする予報区域の条件、発表形式を含む内容等については予め河川事務所等と気象台等とで相互に認識共有を図るとともに、大雨特別警報発表時においても警報等への切替に備えて事前に情報交換を行うこと。

水防水位情報発信時期

水防水位情報発信時期

R5. 4. 5

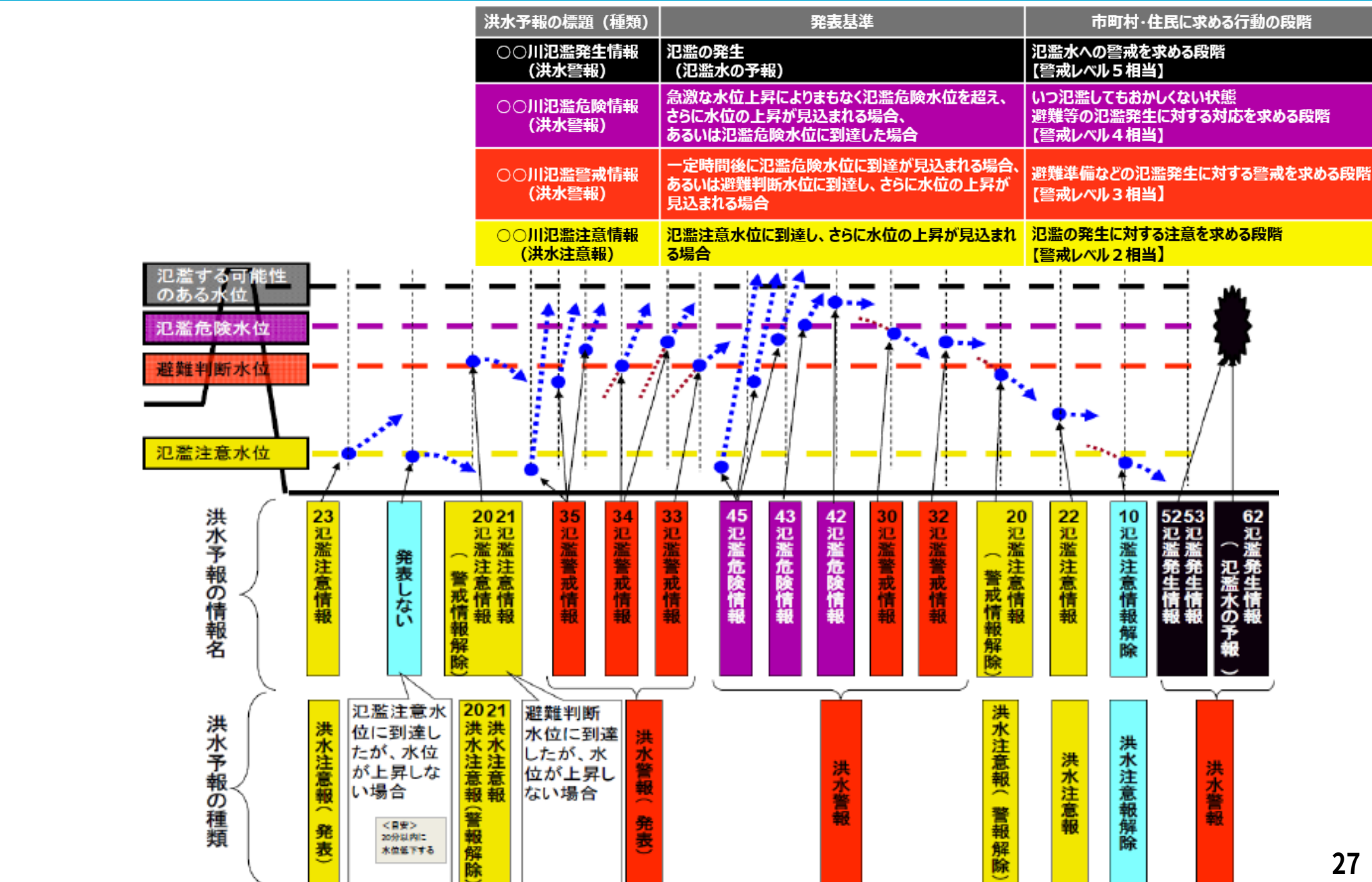
警戒レベル		警戒レベル 1 相当	警戒レベル 2 相当		警戒レベル 3 相当	警戒レベル 4 相当		警戒レベル 5 相当	警戒レベル 5 相当
基準水位	監視水位	水防団待機水位	氾濫注意水位	出動水位	避難判断水位	氾濫危険水位	HWL	氾濫する 可能性のある 水位	各観測所の受け持ち区間における危険箇所(越水)の水位のうち、もっとも危険な危険箇所の水位 (毎年の危険箇所更新に伴い、システム変更が必要) 氾濫発生
枇杷島	4.30 m	4.60 m	5.60 m	6.30 m	8.50 m	8.90 m	9.08 m	10.37 m	
志段味	3.10 m	3.40 m	4.60 m	5.20 m	5.90 m	6.40 m	7.50 m	7.21 m	
多治見	2.20 m	2.50 m	3.20 m	3.70 m	5.30 m	5.60 m	6.78 m	6.52 m	
土岐	2.10 m	2.40 m	3.00 m	4.00 m	4.50 m	4.70 m	6.39 m	5.65 m	
瀬古	2.30 m	2.80 m	3.30 m	5.00 m	5.20 m	5.50 m	5.71 m	6.31 m	
洪水予報			氾濫注意情報 発表		氾濫警戒情報 発表	氾濫危険情報 発表			氾濫発生情報 発表
水防警報		氾濫注意情報 解除		氾濫警戒情報 解除	氾濫危険情報 解除				
			水防警報 準備	水防警報 出動	水防警報 情報	水防警報 情報			
		水防警報 解除		水防警報 情報	水防警報 情報	水防警報 情報			
支部室体制	準備体制	注意体制	警戒体制①	警戒体制②	非常体制				

⇒ 指定した水位に達したとき 又は 下回ったとき

⇒ 水位予測で指定した水位に達する予測が出たとき

洪水予報の発表イメージ

洪水予報の発表イメージ



洪水予報の標題、種類、見出し、主文の例

No.	標題	種類	見出し	主文
10	〇〇川氾濫注意情報解除	洪水注意報解除	〇〇川では、氾濫注意水位を下回る	〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「氾濫注意水位」を下回りました。
20	〇〇川氾濫注意情報 (警戒情報解除)	洪水注意報 (警報解除)	【警戒レベル2相当情報[洪水]に引下げ】〇〇川では、氾濫注意水位を上回る水位が続く見込み	【警戒レベル2相当に引下げ】〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「氾濫注意水位」を上回る水位が続く見込みです。引き続き、洪水に関する情報に注意してください。
20	〇〇川氾濫注意情報 (警戒情報解除)	洪水注意報* (警報解除)	【警戒レベル2相当情報[洪水]に引下げ】〇〇川では、避難判断水位に到達したが、今後、水位は上昇しない見込み	【警戒レベル2相当に引下げ】〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「避難判断水位」に到達しましたが、今後、水位は上昇しない見込みです。引き続き、洪水に関する情報に注意してください。
21	〇〇川氾濫注意情報	洪水注意報*	【警戒レベル2相当情報[洪水]】〇〇川では、避難判断水位に到達したが、今後、水位は上昇しない見込み	【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「避難判断水位」に到達しましたが、今後、水位は上昇しない見込みです。引き続き、洪水に関する情報に注意してください。
22	〇〇川氾濫注意情報	洪水注意報*	【警戒レベル2相当情報[洪水]】〇〇川では、当分の間、氾濫注意水位付近の水位が続く見込み	【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、当分の間、「氾濫注意水位」付近の水位が続く見込みです。引き続き、洪水に関する情報に注意してください。
23	〇〇川氾濫注意情報	洪水注意報*	【警戒レベル2相当情報[洪水]】〇〇川では、氾濫注意水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み	【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。
30	〇〇川氾濫警戒情報	洪水警報	【警戒レベル3相当情報[洪水]に引下げ】〇〇川では、避難判断水位を上回る水位が続く見込み	【警戒レベル3相当に引下げ】高齢者等避難の発令の目安に引下げます。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「避難判断水位」を上回る水位が続く見込みです。引き続き、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
32	〇〇川氾濫警戒情報	洪水警報*	【警戒レベル3相当情報[洪水]】〇〇川では、当分の間、避難判断水位付近の水位が続く見込み	【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、当分の間、「避難判断水位」付近の水位が続く見込みです。引き続き、市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。
33	〇〇川氾濫警戒情報	洪水警報*	【警戒レベル3相当情報[洪水]】〇〇川では、避難判断水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み	【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「避難判断水位」に到達しました。今後、水位はさらに上昇する見込みです。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。
34	〇〇川氾濫警戒情報	洪水警報*	【警戒レベル3相当情報[洪水]】〇〇川では、避難判断水位に到達し、今後、氾濫危険水位に到達する見込み	【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「避難判断水位」に到達しました。今後、「氾濫危険水位」に到達する見込みで、避難指示の発令の目安である警戒レベル4相当となる可能性があります。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。
35	〇〇川氾濫警戒情報	洪水警報*	【警戒レベル3相当情報[洪水]】〇〇川では、今後、氾濫危険水位に到達する見込み	【警戒レベル3相当】これは、高齢者等避難の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、〇〇日〇〇時頃に、「氾濫危険水位」に到達する見込みで、今後、避難指示の発令の目安である警戒レベル4相当となる可能性があります。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとってください。
42	〇〇川氾濫危険情報	洪水警報	【警戒レベル4相当情報[洪水]】〇〇川では、当分の間、氾濫危険水位付近の水位が続く見込み	【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、当分の間、「氾濫危険水位」付近の水位が続く見込みです。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
43	〇〇川氾濫危険情報	洪水警報*	【警戒レベル4相当情報[洪水]】〇〇川では、氾濫危険水位に到達し、氾濫のおそれあり	【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、「氾濫危険水位」に到達しました。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
45	〇〇川氾濫危険情報	洪水警報*	【警戒レベル4相当情報[洪水]】〇〇川では、急激な水位の上昇により、氾濫のおそれあり	【警戒レベル4相当】これは、避難指示の発令の目安です。〇〇川の〇〇水位観測所(〇〇市〇〇)では、急激な水位の上昇により、今後、「氾濫危険水位」を超過する見込みです。〇〇川では堤防決壊等による氾濫のおそれがあり、〇〇市、〇〇市、〇〇町では浸水するおそれがあります。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
52	〇〇川氾濫発生情報	洪水警報*	【警戒レベル5相当情報[洪水]】〇〇川では、(堤防決壊による)氾濫が発生中	【警戒レベル5相当】災害が発生しています。〇〇川では、●●市●●地区(△△岸)付近より氾濫しています。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
53	〇〇川氾濫発生情報	洪水警報*	【警戒レベル5相当情報[洪水]】〇〇川では、(堤防決壊による)氾濫が発生	【警戒レベル5相当】災害が発生しています。〇〇川では、●●市●●地区(△△岸)付近において(堤防決壊による)氾濫が発生しました。直ちに、市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。
62	〇〇川氾濫発生情報 (氾濫水の予報)	洪水警報	【警戒レベル5相当情報[洪水]】〇〇川では、(堤防決壊による)氾濫が続く	【警戒レベル5相当】災害が発生しています。〇〇川では、●●市●●地点(△△岸)付近より氾濫しています。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。

* 最初の注意報、警報のとき 洪水警報(発表)、洪水注意報(発表)とする。

発表者
国土交通省
〇〇河川事務所
気象庁
〇〇地方気象台

第1発報者
機関名

第2発報者
機関名

第3発報者
機関名

別紙2
2 3

正報

〇〇川氾濫注意情報

〇〇川洪水予報第〇号
洪水注意報（発表）
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
発表時刻
〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

（見出し）

【警戒レベル2相当情報【洪水】】〇〇川では、氾濫注意水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

（主 文）

【警戒レベル2相当】〇〇川の〇〇水位観測所（〇〇市〇〇）では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の△△水位観測所（△△市△△）では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

【警戒レベル2相当】〇〇川の□□水位観測所（□□市□□）では、「氾濫注意水位」に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込みです。洪水に関する情報に注意してください。

（雨量）

所より1時間に50ミリの雨が降っています。
今後この雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分 までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

（水位）

別紙2

〇〇川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度		レベル1				レベル2				レベル3				レベル4			
	水位(m)		水防団 待機		氾濫 注意		避難 判断		避難 判断		避難 判断		避難 判断		避難 判断		避難 判断	
〇〇〇 水位観測所 (〇〇県〇〇市〇〇)	00日00時00分の状況	XXX.X																
	00日01時00分の予測	XXX.X																
	00日02時00分の予測	XXX.X																
	00日03時00分の予測	XXX.X																
	00日04時00分の予測	XXX.X																
	00日05時00分の予測	XXX.X																
△△△ 水位観測所 (〇〇県△△市△△)	00日00時00分の状況	XXX.X																
	00日01時00分の予測	XXX.X																
	00日02時00分の予測	XXX.X																
	00日03時00分の予測	XXX.X																
	00日04時00分の予測	XXX.X																
	00日05時00分の予測	XXX.X																
□□□ 水位観測所 (〇〇県□□市□□)	00日00時00分の状況	XXX.X																
	00日01時00分の予測	XXX.X																
	00日02時00分の予測	XXX.X																
	00日03時00分の予測	XXX.X																
	00日04時00分の予測	XXX.X																
	00日05時00分の予測	XXX.X																

予測時間が長くなるほど不確実性が高まります。予測水位の値は今後変わることもあるため、今後も最新の発表をご確認ください。

水位のグラフは各水位間を按分したものです。

水位危険度レベル4は、「氾濫危険水位」と「氾濫する可能性のある水位」を按分しています。堤防の決壊等により「氾濫する可能性のある水位」に到達する前に氾濫することもあるため、この水位は避難行動開始の目安ではありません。

（参考資料）

観測所名	〇〇〇水位観測所		△△△水位観測所		□□□水位観測所	
	〇〇県〇〇市〇〇		〇〇県△△市△△		〇〇県□□市□□	
レベル4水位 氾濫危険水位	144.9		48.6		23.1	
レベル3水位 避難判断水位	144.6		48.0		21.5	
レベル2水位 氾濫注意水位	142.5		46.5		20.0	
レベル1水位 水防団待機水位	142.0		45.5		—	
受け持ち区間	〇〇川		〇〇川		□□川	
	左岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	左岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	左岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市
	右岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	右岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	右岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市
	〇×川		△△川		—	
	左岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	左岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	—	
	右岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	右岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	—	
	〇〇〇〇川		—		—	
	左岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	—		—	
	右岸	〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市	—		—	
	〇〇〇〇川		—		—	

令和5年度の気象概要、情報提供 (名古屋地方気象台)

令和6年6月10日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

■ 令和5年度の気象概況について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
■ 府県単位での線状降水帯半日前予測について(情報提供).....	8

令和5年度の気象概況について

1. 2023 年 1 月～12 月の気象概況

1－1 月別の東海地方の天候

1 月

上旬と中旬は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多く、下旬は天気为数日の周期で変化しました。まとまった雨の降った日が少なかったため、月降水量は少なくなりました。岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多くなりました。また、中旬は暖かい空気に覆われやすかった一方、下旬は強い寒気の影響を受けやすかったため、気温の変動が大きく、月平均気温は高くなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「平年並」となりました。

2 月

上旬と中旬は天気为数日の周期で変化し、下旬は冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。下旬を中心に低気圧や前線の影響を受けにくかったため、月降水量は少なくなりました。岐阜県山間部では曇りや雪または雨の日が多くなりました。また、上旬と中旬は寒気の影響を受けにくかったため、月平均気温は高くなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「平年並」となりました。

3 月

上旬は高気圧に覆われて晴れた日が多く、中旬は天気为数日の周期で変わりました。下旬は、前半は曇りや雨の日が、後半は晴れた日が多くなりました。上旬を中心に晴れた日が多かったため、月間日照時間は多くなりました。寒気の影響を受けにくく、暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温はかなり高く、平年差は+3.2℃となり、統計開始（1946 年）以降、第 1 位の記録的な高温となりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「多い」となりました。

4 月

天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、低気圧や前線の影響で雨が降り大雨や荒れた天気となった日もありました。上旬から中旬を中心に暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「平年並」となりました。

5 月

天気は数日の周期で変わりましたが、上旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため月間日照時間は多くなりました。暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は高くなりました。また、低気圧や前線の影響で広い範囲で大雨となった日もあったため、月降水量は多くなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「多い」、月間日照時間は「多い」となりました。

6 月

高気圧に覆われて晴れた日もありますが、梅雨前線や台風からの湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなり、大雨や荒れた天気となった日がありました。このため、月降水量はかなり多く、月間日照時間は少なくなりました。また、暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「かなり多い」、月間日照時間は「少ない」となりました。

7月

月の前半は、梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所がありました。後半は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。月降水量は少なく、月間日照時間はかなり多くなりました。月を通して暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。また、上空に寒気が流入し大気の状態が非常に不安定となり所々で雷雨となった日があり、突風による被害が発生した所もありました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

8月

太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多く、暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高くなりました。また、台風や湿った空気の影響で大雨となった日もあったため、月降水量はかなり多くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「かなり多い」、月間日照時間は「平年並」となりました。

9月

高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、台風や前線及び湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨や大荒れの天気となった所がありました。晴れた日が多く、暖かい空気に覆われたため、月平均気温はかなり高く、月降水量は少なく、月間日照時間は多くなりました。なお、月平均気温は、平年差が+2.6℃となり統計開始（1946年）以降、第1位の記録的な高温となりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「少ない」、月間日照時間は「多い」となりました。

10月

上旬は、天気は数日の周期で変わりましたが、低気圧や前線の影響を受けて大雨や荒れた天気となった所がありました。中旬以降は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、月間日照時間はかなり多くなりました。

月平均気温は「平年並」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

11月

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、月間日照時間は多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は高くなりましたが、上旬は記録的な高温となった一方、中旬は寒気の影響で気温がかなり低くなった日があり、寒暖の変動が大きくなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「多い」となりました。

12月

冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、月間日照時間はかなり多くなりました。暖かい空気が流れ込みやすく、中旬を中心にかなり気温の高い日が続いたため、月平均気温は高くなりました。一方、上旬前半や下旬前半は、寒気の影響を受けて気温の低い日が続くなど月を通して寒暖の変動が大きくなりました。

月平均気温は「高い」、月降水量は「平年並」、月間日照時間は「かなり多い」となりました。

注)

- ・ここでは東海地方平均の平均気温、降水量、日照時間についての特徴を記述している。東海地方平均とは、東海地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（富士山除く 14 地点）の平年差・比を平均したものである。
- ・1991～2020 年（30 年間）の 30 個の値を小さい値から順に並べ、10 個（33.3…%）ずつの 3 群に分けるように求めた境界値から、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」とした階級に区分して表す。さらに、低い（少ない）方または高い（多い）方から出現率 10%の範囲を、それぞれ「かなり低い（少ない）」、「かなり高い（多い）」と表す。

1 - 2 梅雨

梅雨入り： 5 月 29 日ごろ 「かなり早い」 （平年： 6 月 6 日ごろ）

梅雨明け： 7 月 16 日ごろ 「早い」 （平年： 7 月 19 日ごろ）

梅雨期間を含むこの 2 か月の降水量は平年を下回った所もありますが、伊良湖や浜松など平年を上回った所が多く、東海地方平均の平年比は 119%で「多い」となりました。

梅雨の時期（6 月～7 月）の東海地方の降水量（mm）及び平年比（%）

地点名	実況値	平年値	平年比
高山	499.0	431.3	116
岐阜	604.0	494.6	122
名古屋	521.5	397.9	131
上野	364.0	388.6	94
津	411.0	375.7	109
伊良湖	656.5	339.2	194
浜松	660.5	433.8	152
御前崎	563.0	478.6	118
静岡	698.0	565.5	123
三島	614.5	436.1	141
尾鷲	800.0	841.8	95
石廊崎	362.0	440.1	82
網代	417.5	494.0	85
四日市	487.0	457.0	107
東海地方の地域平均の平年比			119

1-3 台風

令和5年の台風発生数は17個（平年の発生数：25.1個）、上陸した台風は1個（平年の上陸数：3.0個）、東海地方に接近した台風は第7号、第13号の2個（平年の接近数：3.5個）でした。

台風発生数・上陸数及び東海地方への接近数（確定値）

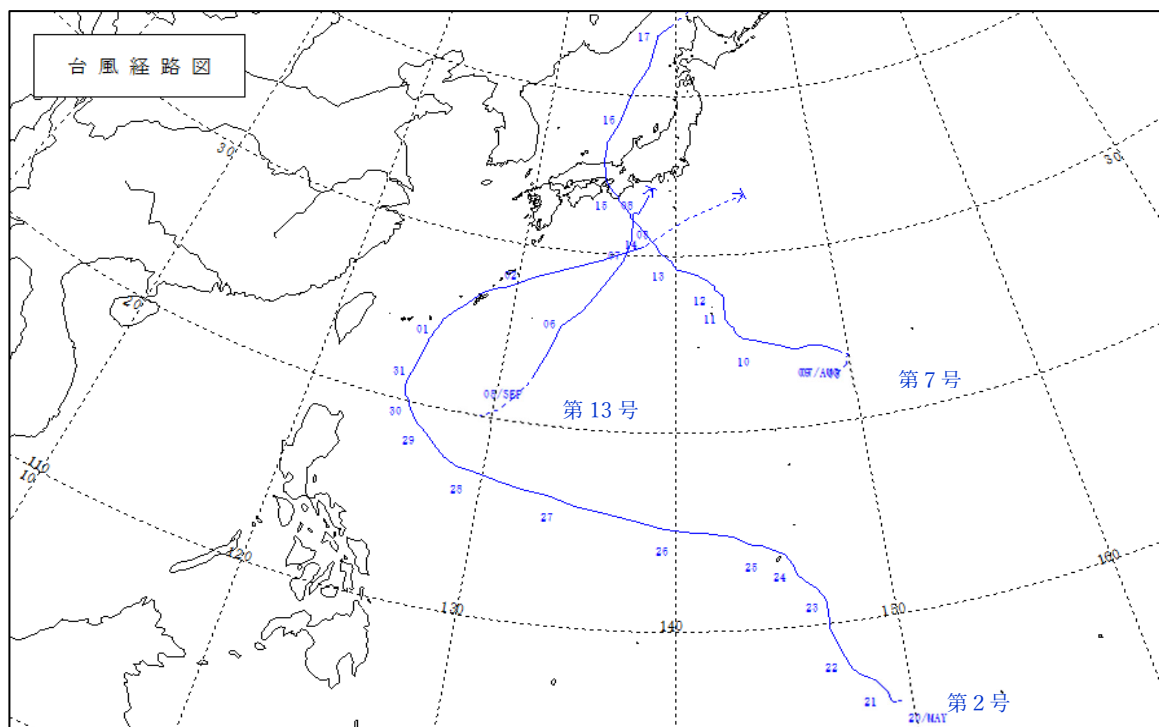
月		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年間
令和5年	発生数	0	0	0	1	1	1	3	6	2	2	0	1	17
	上陸数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	東海接近数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
平年	発生数	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
	上陸数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3	-	-	3.0
	東海接近数	-	-	-	-	0.1	0.2	0.6	0.8	1.2	0.7	-	-	3.5

※東海地方に接近した台風とは、その中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所（富士山を含めた15地点）から300km以内に入った台風を指します。

東海地方に接近した台風（※第2号、第7号、第13号）の経路図

（実線は台風の期間、点線は熱帯低気圧または温帯低気圧の期間）

※台風第2号は、中心が東海地方から300km以内に入っていませんが、東海地方に大きな影響を及ぼした台風であるため、台風経路を示しました。



2. 2023 年（令和 5 年）出水時の気象概況

2-1 台風第 2 号及び前線による大雨（6 月 1 日～3 日）

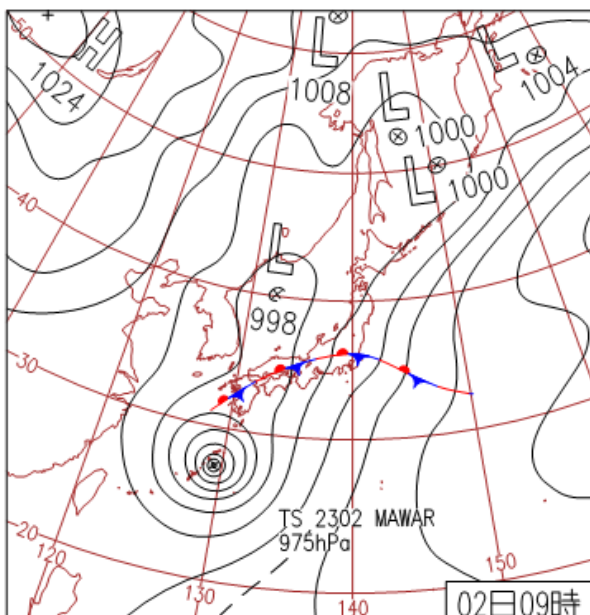
（1）洪水予報の発表状況

河川名	番号	種類	発表日時
庄内川	1	氾濫警戒情報	令和 5 年 6 月 2 日 13 時 40 分
	2	氾濫危険情報	令和 5 年 6 月 2 日 14 時 10 分
	3	氾濫危険情報	令和 5 年 6 月 2 日 14 時 40 分
	4	氾濫注意情報（警戒情報解除）	令和 5 年 6 月 2 日 16 時 00 分
	5	氾濫注意情報	令和 5 年 6 月 2 日 17 時 10 分
	6	氾濫注意情報	令和 5 年 6 月 2 日 18 時 30 分
	7	氾濫注意情報解除	令和 5 年 6 月 2 日 22 時 00 分

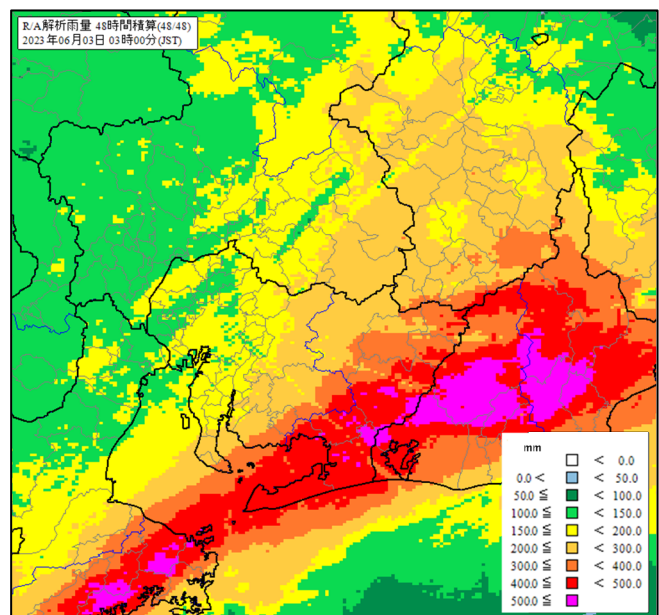
（2）気象概況

6 月 1 日から 3 日にかけて、台風第 2 号周辺の暖かく湿った空気が本州付近に停滞する梅雨前線に向かって流れ込み、前線の活動が活発となった。岐阜県東農地方から愛知県にかけて大雨となり、愛知県では特に 2 日夕方から夜のはじめ頃にかけては、線状降水帯が発生するなど、同じ場所で激しい雨や非常に激しい雨が降り続き、西三河南部や東部を中心に記録的な大雨となった。

庄内川の土岐水位観測所で氾濫危険水位を超えたほか、多治見、志段味、枇杷島水位観測所及び矢田川の瀬古水位観測所で氾濫注意水位を超える出水となった。

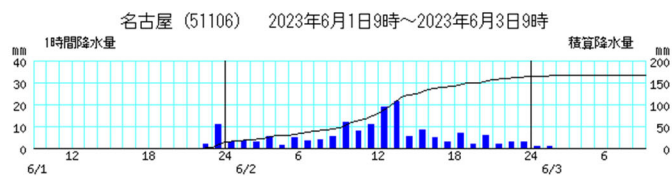
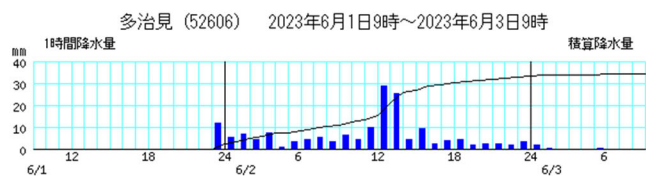


地上天気図（6月2日09時）

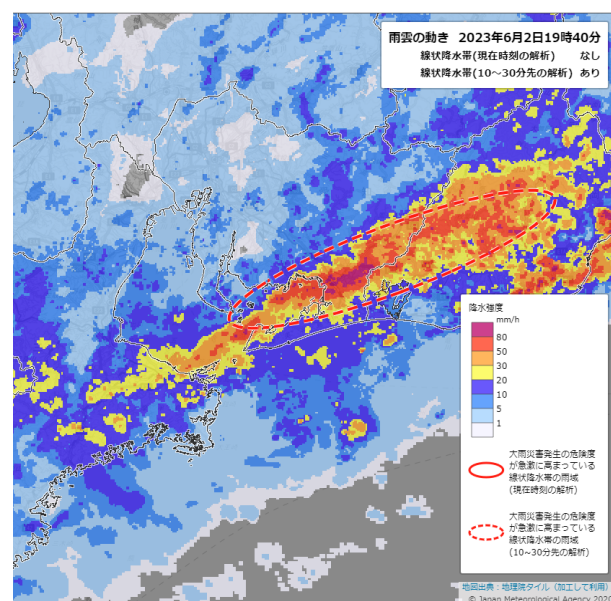
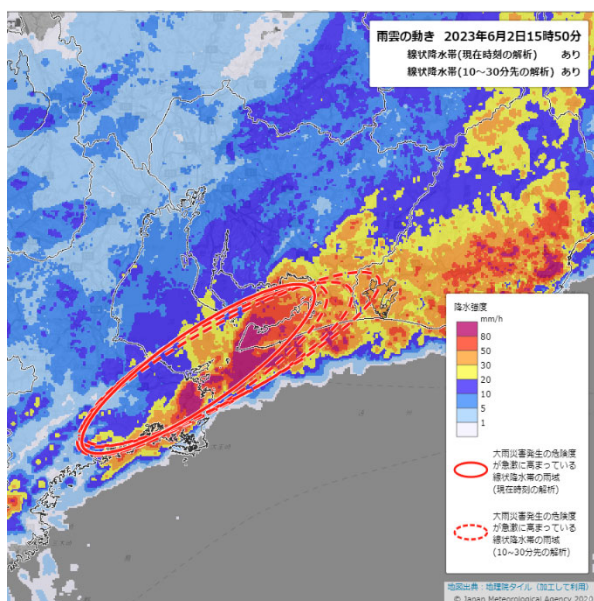


6月3日03時までの48時間積算雨量（解析雨量*）

* 解析雨量：レーダーと雨量計による観測の長所を生かして、1km四方の細かさで解析した降水量分布



アメダス降水量時系列図



線状降水帯の発生状況 赤い楕円：線状降水帯の雨域

(左：6月2日15時50分 右：6月2日19時40分)

※赤い楕円：線状降水帯の雨域（実線 現在時刻の解析、点線 10～30分先の解析）

※顕著な大雨に関する気象情報が発表された際には、「雨雲の動き」、「今後の雨」（1時間雨量又は3時間雨量）において、大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている線状降水帯の雨域を赤い楕円で表示する。

現在時刻に解析された線状降水帯の雨域を実線で、10～30分先に解析された線状降水帯の雨域を破線で表示する。

情報提供

府県単位での線状降水帯半日前予測について

線状降水帯による大雨について 半日程度前から**府県単位**での呼びかけを開始します

令和 6 年5月
名古屋地方気象台

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（情報の改善）

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」（線状降水帯の発生をお知らせする情報）をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。
令和6年5月下旬からは、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

令和3(2021)年
線状降水帯の発生をお知らせする情報
(令和3年6月提供開始)



線状降水帯の雨域を楕円で表示

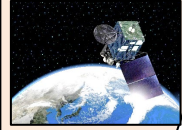
「明るいうちから早めの避難」… 段階的に対象地域を狭めていく

今年度の新たな運用

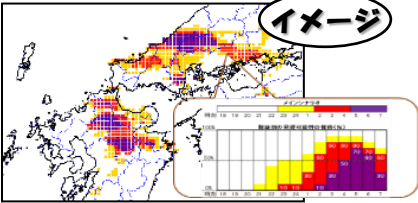
令和4(2022)年～
広域で半日前から予測
(令和4年6月提供開始)

令和6(2024)年～
府県単位で半日前から予測

次期静止気象衛星
(令和11年度運用開始予定)



令和11(2029)年～
市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



令和5(2023)年～
最大30分程度前倒して発表
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～
2～3時間前を目標に発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」… 段階的に情報の発表を早めていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

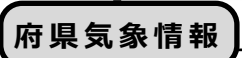
国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）



大雨に関する**東海地方**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 名古屋地方気象台発表
<見出し>
東海地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

大雨に関する**東海地方**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 名古屋地方気象台発表
<見出し>
愛知県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…



対象とならない 岐阜県、三重県、静岡県では、
府県気象情報においての呼びかけをしない。

大雨に関する**愛知県**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 名古屋地方気象台発表
<見出し>
東海地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

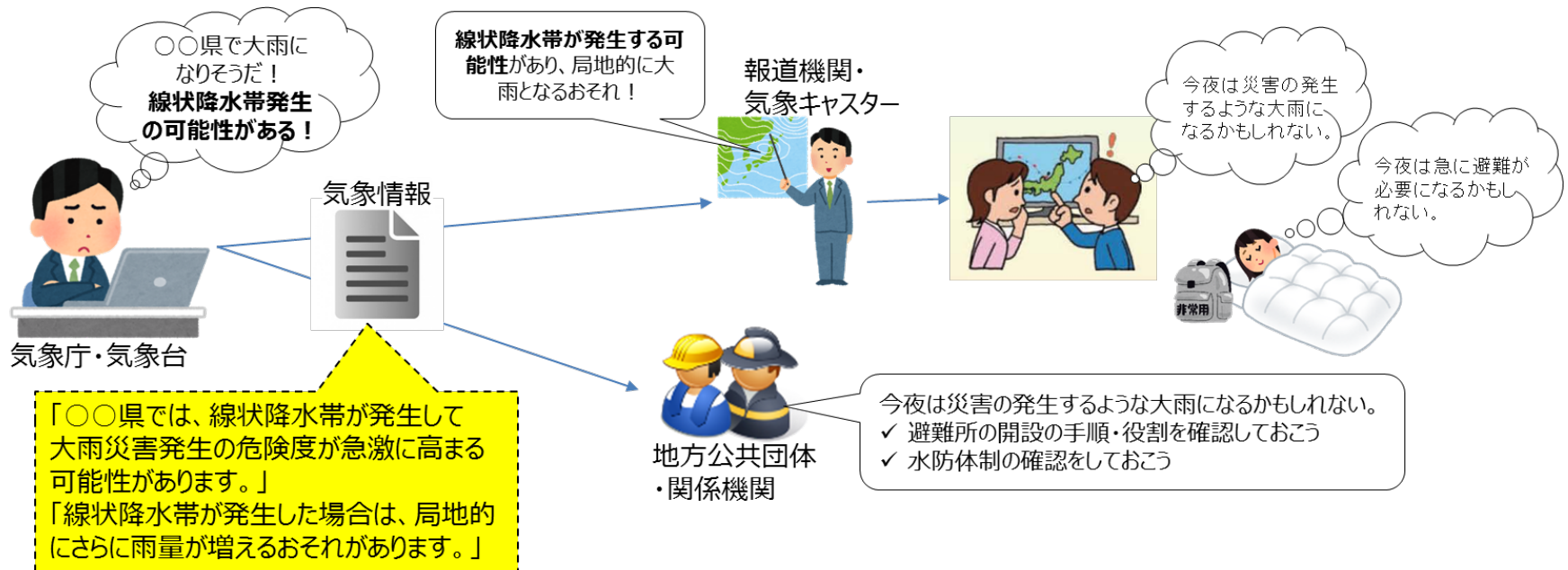
大雨に関する**愛知県**気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 名古屋地方気象台発表
<見出し>
愛知県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生
の危険度が急激に高まる可能性があります。
<本文>
…（中略）…

※北海道や沖縄県では、府県予報区単位で発表します。
※鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表します。
※発表する情報の電文フォーマットは変わりません。

呼びかけが行われた時の対応例

府県単位で呼びかけを行います、
これまでと対応を変える必要はありません。

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることがあるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。
- **市町村**の防災担当の皆さまには、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えていただくことが考えられます。
- **住民**の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。



線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけや「顕著な大雨に関する気象情報」といった線状降水帯に関する情報だけでなく、**大雨警報やキキクル（危険度分布）等、段階的に発表する防災気象情報全体を適切に活用することが重要**です。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

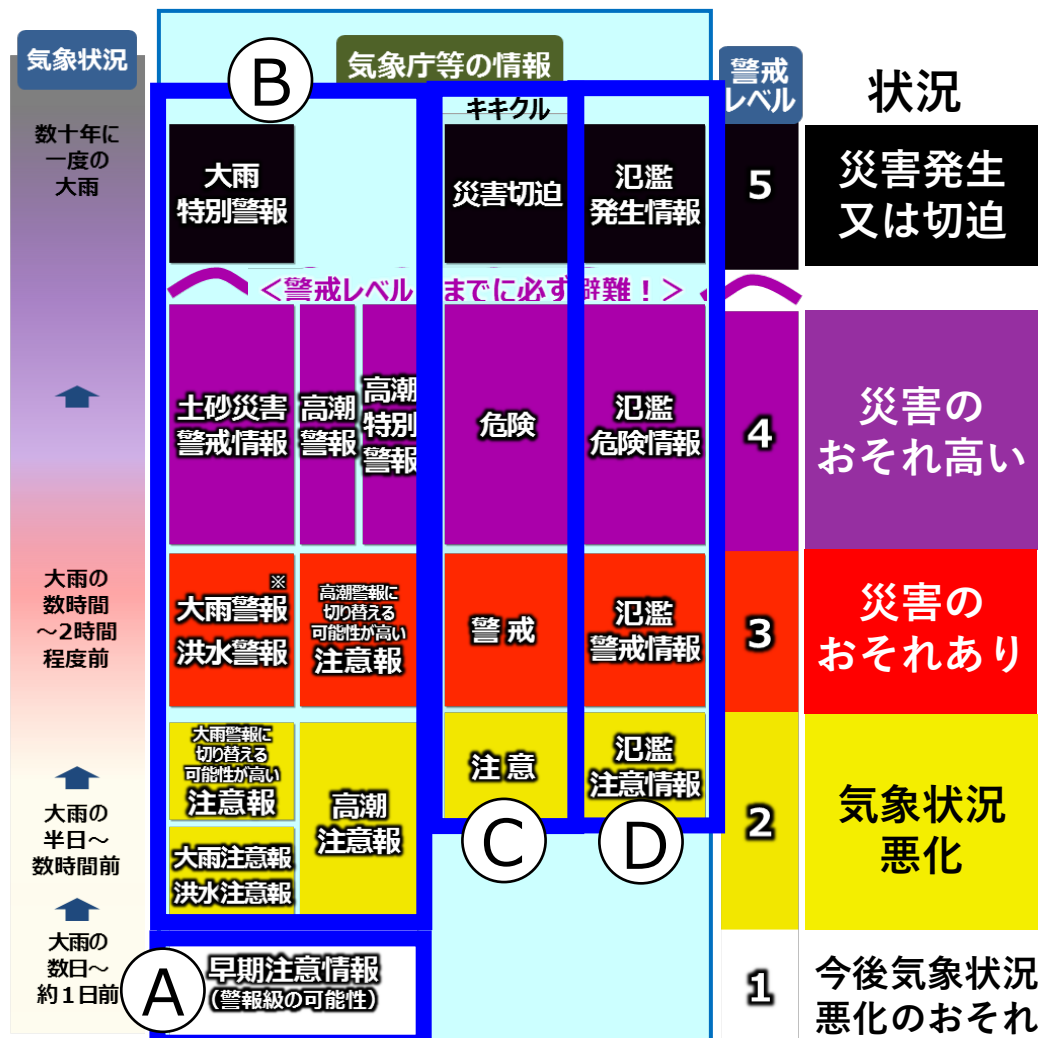
気象状況	気象庁等の情報			市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	キキクル 災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
<警戒レベル4までに必ず避難！>						
大雨の数時間～2時間程度前	土砂災害警戒情報 高潮警報 高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
大雨の半日～数時間前	※大雨警報 洪水警報 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨の数日～約1日前	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 高潮注意報 大雨注意報 洪水注意報 早期注意情報 (警報級の可能性)	注意	氾濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置) ・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
					災害への心構えを高める	1

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

多様な防災気象情報

- 大きく分けると ①A～①D の4種類
- 洪水①A～①D、土砂災害・雨水出水①A～①C、高潮①A～①B を活用可



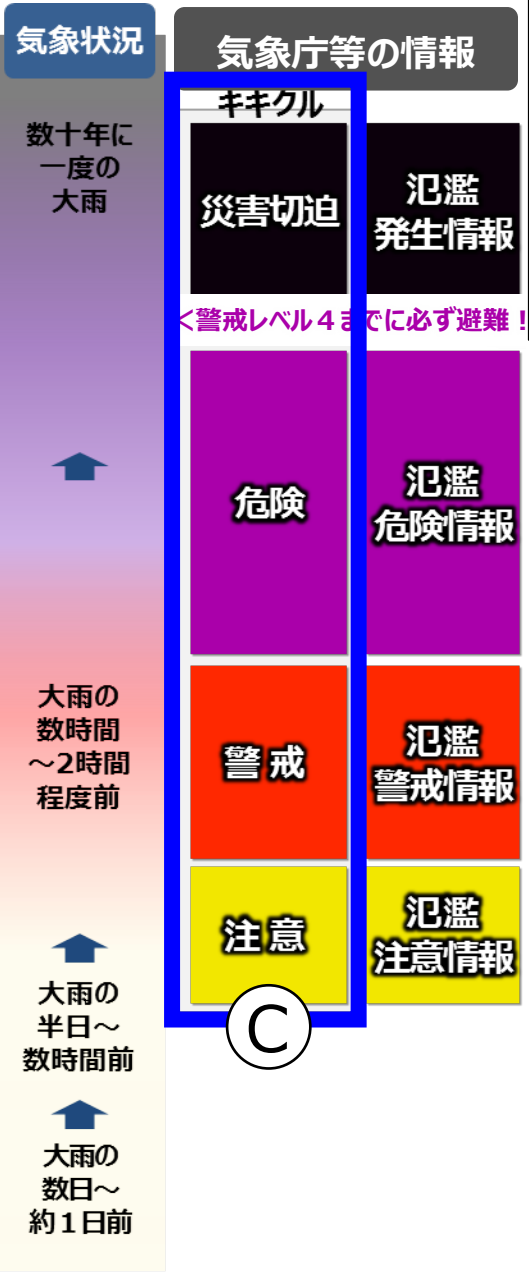
防災気象情報の種類

- ①A 早期注意情報 (警戒レベルの可能性がある)
- ①B 注意報・警報・特別警報
土砂災害警戒情報
- ①C キキクル (危険度分布)
- ①D 指定河川洪水予報

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3 (高齢者等

③ キキクル（危険度分布）

対象リスク：洪水、土砂災害、雨水出水



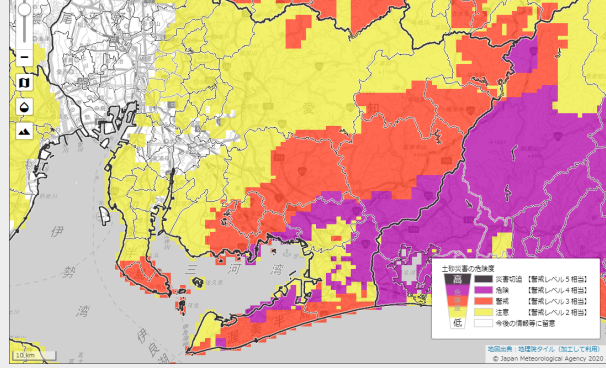
- ・洪水害、土砂災害、浸水害（雨水出水）の危険度の高まりを地図上に表示
- ・観測に基づく雨量の予測や過去の災害データを基に危険度を予測
- ・5段階に色分けして**1 kmごとに表示**。直近の観測を用いて**10分ごとに更新**。
- ・キキクルが示す危険度の予測期間
洪水→3時間先まで、土砂災害→2時間先まで、浸水→1時間先まで
- ・6時間前から現在までの履歴も見られる。

発表例 & 活用法

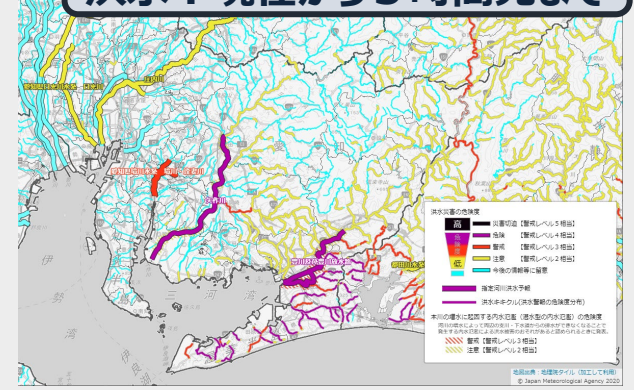
警報等③は自治体ごとに発表
（自治体内の一部でも基準に達すると予想されたら発表）

警報・注意報が発表された際、
居住施設等の周辺の危険度を確認できる

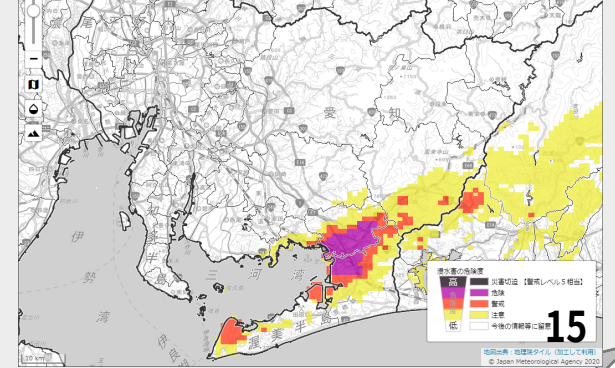
土砂災害：現在から2時間先まで



洪水：現在から3時間先まで



浸水害：現在から1時間先まで



令和5年6月2日 出水速報

令和6年6月10日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

■ 令和5年6月2日 出水速報	1
-----------------------	---

<第2報 → 第3報の変更点>

P10～12(河川管理施設の被災状況)を追加

速報版

8月15日(火)10:00時点

台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による 大雨の庄内川（土岐川）出水状況について 【第3報】



令和5年6月8日

国土交通省 中部地方整備局

庄内川河川事務所

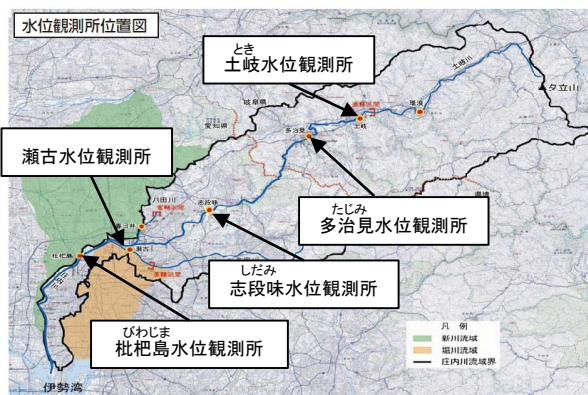
本資料の数値等は、速報値及び推定値であるため、今後の調査により変わる可能性があります。

台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

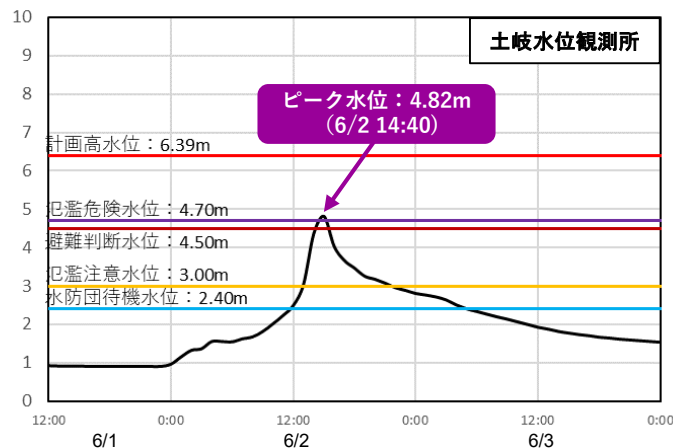
○出水概要

- 令和5年6月1日～3日かけて、台風第2号及びそれに伴う前線の活発化により庄内川流域において大雨となりました。
- 論析雨量観測所(瑞浪市)では、2日13時～2日14時までの1時間に、38mmの降雨を記録しました。また、6月1日0時から6月3日24時までの累加雨量は192mmを記録しました。
- また、土岐水位観測所のピーク水位は令和3年8月出水と同規模の4.82mを記録しました。

■観測所位置



■河川の水位状況 (R5.6.1～R5.6.2)



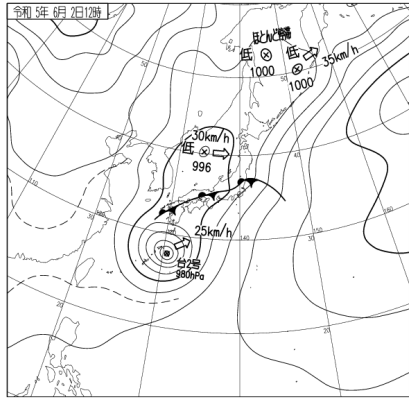
■平成23年9月出水以降の洪水ピーク水位 (土岐水位観測所)

順位	発生年月日	水位(m)	備考
1	R5.6.2	4.82	豪雨
2	R3.8.14	4.81	豪雨
3	H28.9.20	4.53	台風第16号
4	H23.9.20	4.08	台風第15号
5	H29.8.18	3.90	豪雨
6	R02.7.11	3.89	豪雨
7	H29.7.4	3.76	台風第3号
8	R3.5.21	3.75	豪雨
9	H25.9.16	3.75	台風第18号

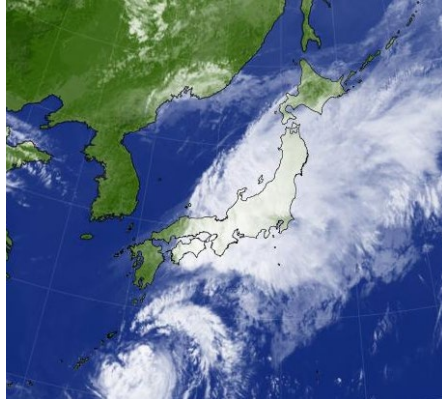
※ 1位、2位のみ10分データで整理

台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

■気象状況図および総雨量分布図（レーダー）

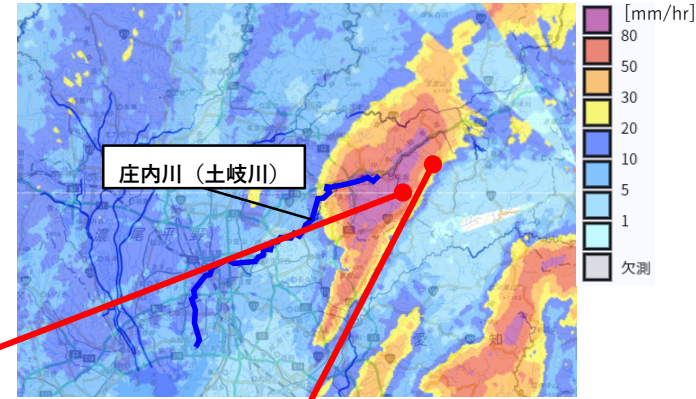


出典：気象庁ウェブサイト
天気図（6月2日12時）



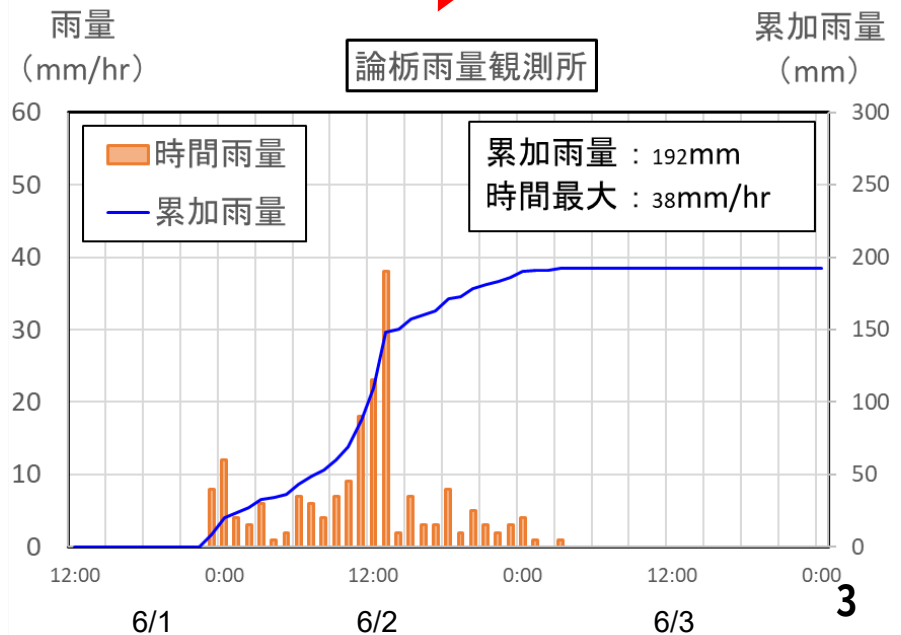
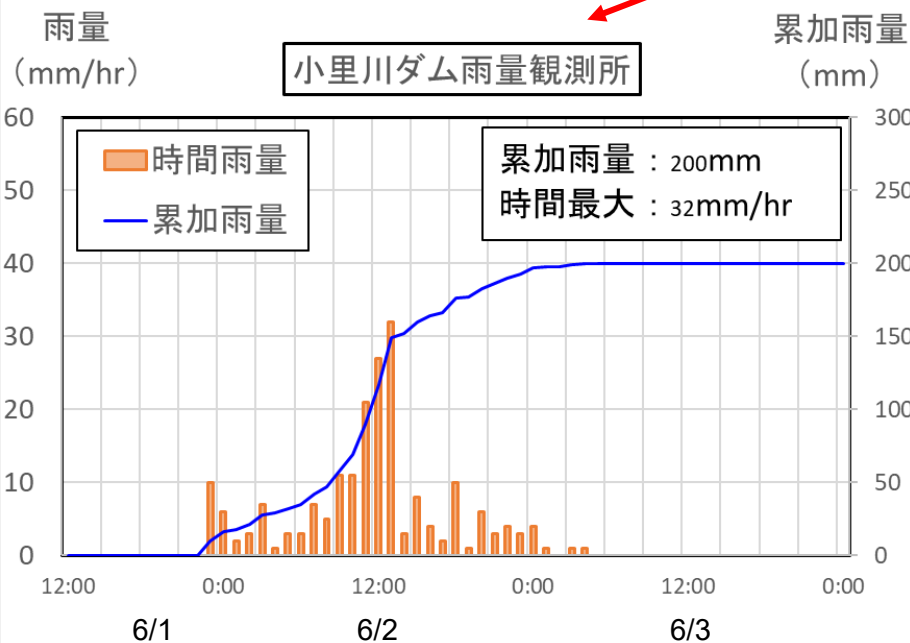
出典：気象庁ウェブサイト
衛星画像（6月2日12時）

■雨量分布図（6月2日13時30分）



出典：川の防災情報

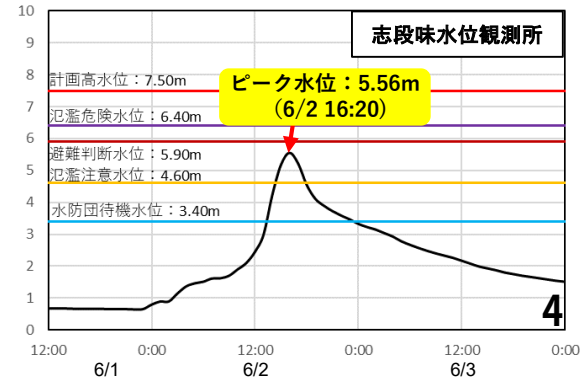
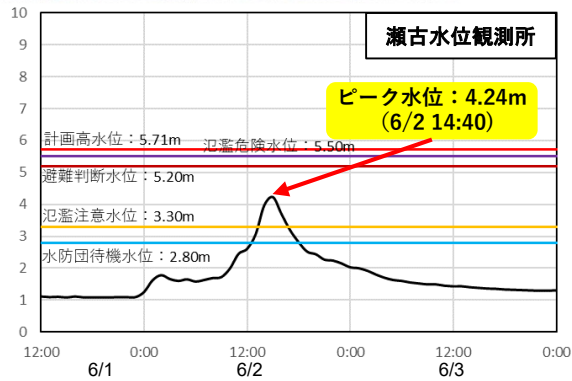
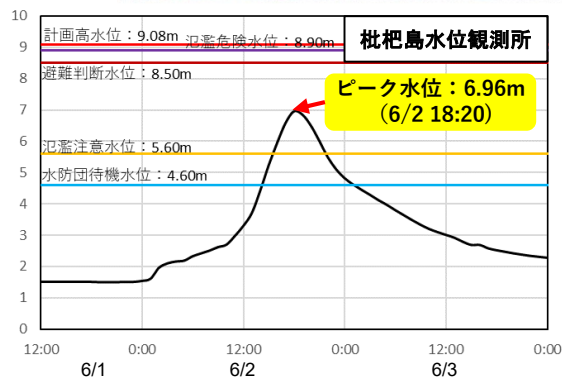
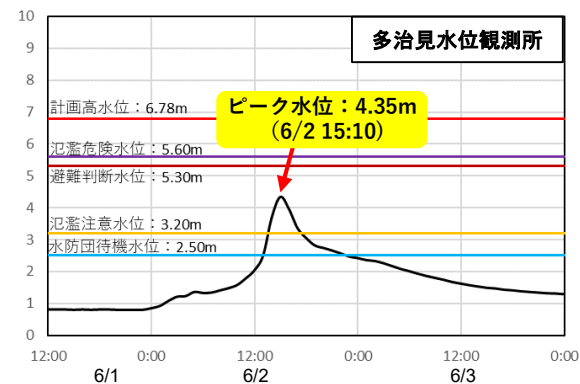
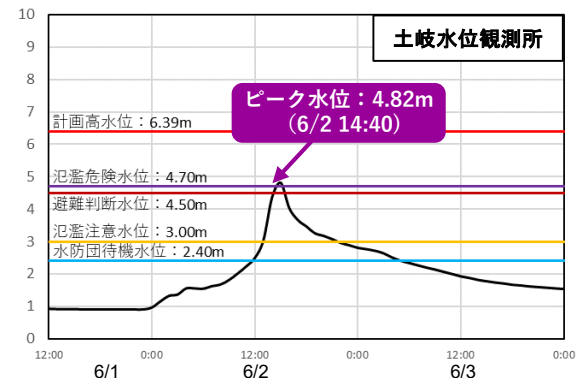
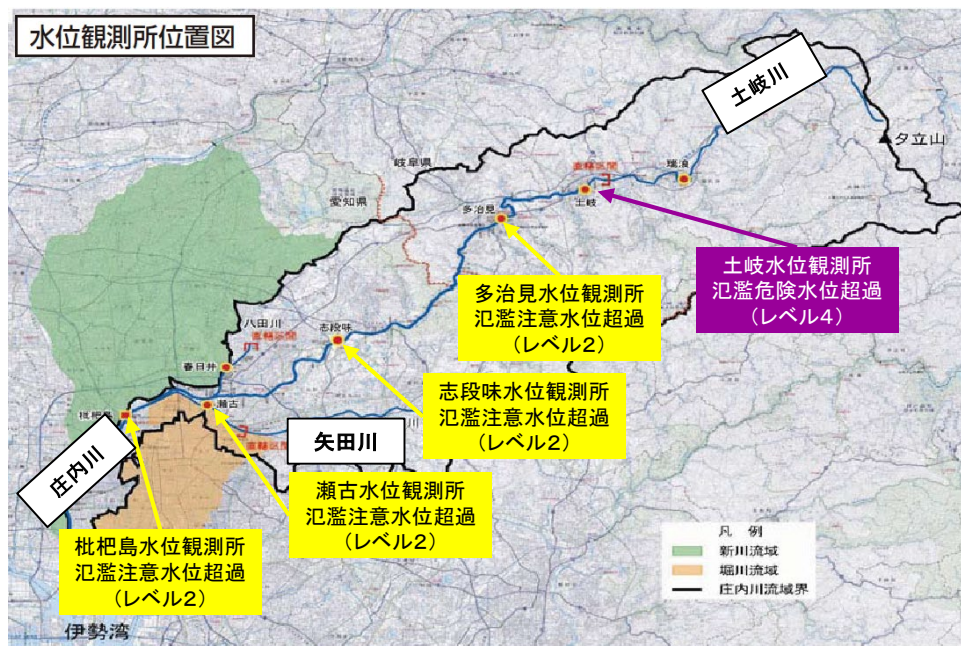
■時間雨量および累加雨量



○庄内川(土岐川)の出水状況

- 土岐水位観測所で、**氾濫危険水位**を超過しました。
- 多治見、志段味、枇杷島、瀬古水位観測所は、**氾濫注意水位**を超過しました。

■各水位観測所の水位 (R5.6.1～ R5.6.3)



台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○平常時と出水時の比較

庄内川(土岐川): 岐阜県区間

■新土岐川橋付近 (河口から58.9km付近)



■土岐水位観測所付近 (河口から57.9km付近)



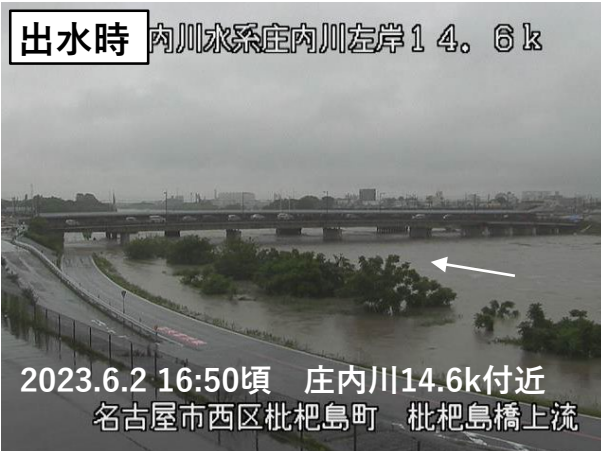
■土岐川出張所付近 (河口から48.5km付近)



台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○平常時と出水時の比較 庄内川、矢田川：愛知県区間

■枇杷島橋上流付近 (河口から14.6km付近)



■JR中央線上流付近 (合流点から5.6km付近)



2.1km付近)



台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○洪水予報、水防警報の発表状況

■洪水予報の発表状況（庄内川河川事務所と名古屋地方気象台の共同発表）

河川	基準観測所	号数	警報種別	発表日時
庄内川	土岐	1	氾濫警戒	6月2日 13:40
庄内川	土岐・志段味	2	氾濫危険	6月2日 14:10
庄内川・矢田川	多治見・瀬古	2	氾濫注意	6月2日 14:10
庄内川	枇杷島	2	氾濫警戒	6月2日 14:10
庄内川	志段味・枇杷島	3	氾濫注意（警戒情報解除）	6月2日 14:40
庄内川	土岐	4	氾濫注意（警戒情報解除）	6月2日 16:00
矢田川	瀬古	5	解除	6月2日 17:10
庄内川	多治見・志段味	6	解除	6月2日 18:30
庄内川	土岐・枇杷島	7	解除	6月2日 22:00

河川	基準観測所	号数	警報種別	発表日時
庄内川	土岐	1	準備	6月2日 13:10
矢田川	瀬古	1	準備	6月2日 13:40
庄内川	多治見	2	準備	6月2日 14:00
庄内川	多治見	2	出動	6月2日 14:00
庄内川	土岐	2	出動	6月2日 14:10
庄内川	志段味	1	準備	6月2日 14:40
庄内川	志段味	2	出動	6月2日 15:40
庄内川	枇杷島	1	準備	6月2日 15:40
庄内川	枇杷島	2	出動	6月2日 17:00
矢田川	瀬古	2	解除	6月2日 17:10
庄内川	多治見	3	解除	6月2日 17:40
庄内川	志段味	3	解除	6月2日 18:10
庄内川	土岐	3	解除	6月2日 22:00
庄内川	枇杷島	3	解除	6月2日 22:10

台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○出水時の活動

- 今回の出水にあたり、河川巡視等を実施し、施設の被災が確認された箇所においてドローンによる被災調査を行いました。
- 土岐・多治見・瀬古水位観測所で避難判断水位、氾濫危険水位に到達する予測であった際には、近郊の市町(土岐市、多治見市、瀬戸市)にホットライン※を実施し、河川の状況等について直接伝えました。

※刻一刻と変化する河川の状況の中、市町村長が「避難勧告」及び「避難指示」を的確に発令するために、「洪水予報」に加え事務所長から市町村長へ直接、河川の状況を伝える「ホットライン」を開設し、情報の補完を実施しています。

河川巡視 施設状況の確認



河川巡視 河道状況の確認



河川巡視 橋脚状況の確認



ドローン調査 被災状況の確認



ドローン調査 被災状況の確認



ドローン調査 被災状況の確認



台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○土岐市における小里川ダムの洪水調節効果

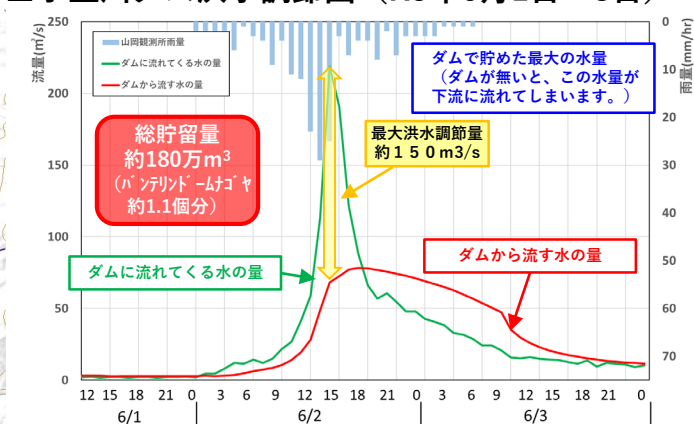
- 今回の出水により、小里川ダム地点では最大流入量約 $220\text{m}^3/\text{s}$ を観測しましたが、小里川ダムの洪水調節(防災操作)により、下流へ流れる**洪水の量を最大約 $150\text{m}^3/\text{s}$ 軽減**しました。
- これにより、土岐市泉町河合地先では、**約30cmの水位低減**があったと推定されます。

ダムが無い場合の水位及び最大被害想定は、簡易的な手法を元に算出しております
本資料の数値等は、速報値及び推定値であるため、今後の調査により変わる可能性があります。

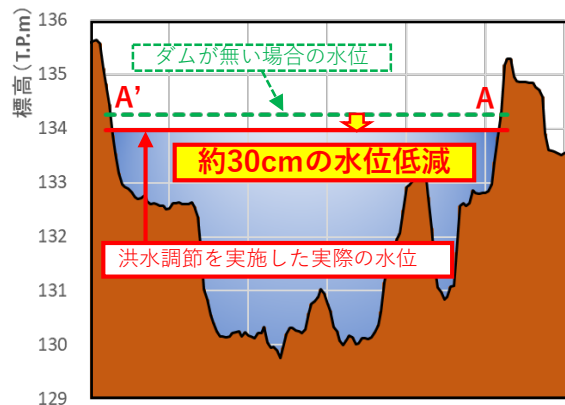
■位置図



■小里川ダム洪水調節図 (R5年6月1日～3日)



■岐阜県土岐市泉町河合地先 (庄内川59.0k付近)



平常時の貯留状況



出水時の貯留状況
6月2日17時30分 (最大貯留時)

※ダムが無い場合の水位及び最大被害想定は、簡易的な手法を元に算出しております。

台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

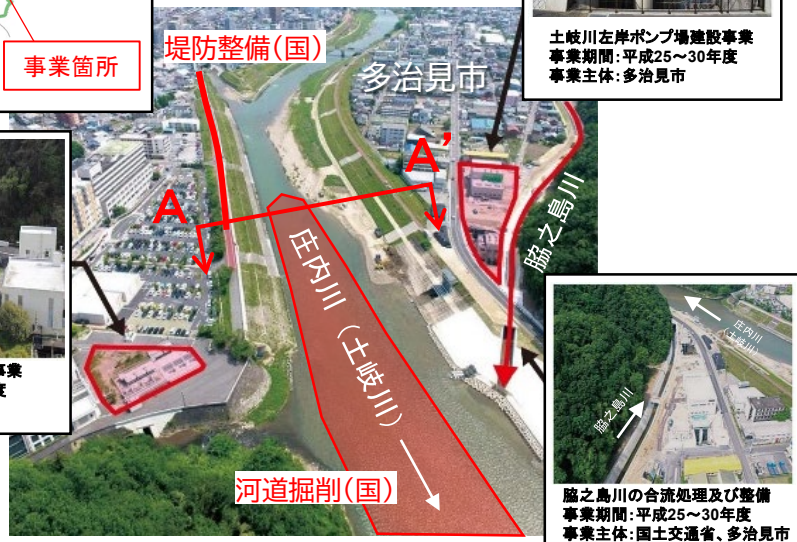
○多治見市における浸水対策の効果

- 平成23年9月台風第15号の浸水被害を受けて、国、岐阜県、多治見市、地域住民等により浸水対策協議会を設置し、土岐川の河道掘削や堤防整備、脇之島川の付替え、土岐川右岸ポンプ場増設、土岐川左岸ポンプ場の新設等の浸水被害の軽減に向けた取組を実施しました。
- 今回の出水では、土岐川の河道掘削の実施と小里川ダムの洪水調節効果により、多治見市平和町地先にて、**約50cmの水位低減**があったと推定されます。
- また、**土岐川右岸ポンプ場及び土岐川左岸ポンプ場が稼働**し、内水を排水しました。
- 今回の降雨は、多治見地点上流域でH23.9出水時に迫る雨量を観測しましたが、**家屋等の浸水被害を軽減しました。**

※岐阜県多治見市平和町地先の水位は、簡易的な手法を元に算出しております。

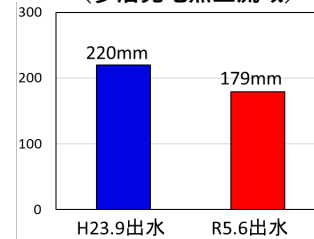
※本資料の数値等は、速報値及び推定値であるため、今後の調査により変わる可能性があります。

■浸水対策の主な取組

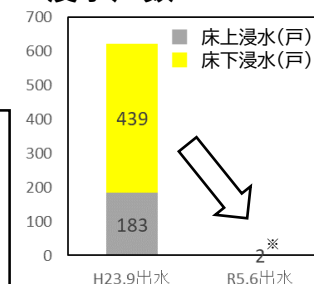


■24時間流域平均雨量

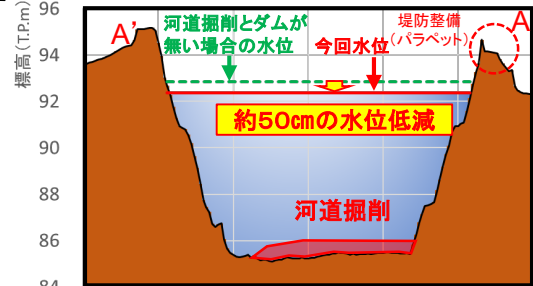
(多治見地点上流域)



■浸水戸数



※岐阜県公表資料6月5日時点より



岐阜県多治見市平和町地先(庄内川47.4k付近)

(参考) H23.9出水 浸水実績



※岐阜県多治見市平和町地先の水位は、簡易的な手法を元に算出しております。

台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○河川管理施設の被災状況（瀬と かのり 瀬戸市鹿乗地区の護岸損傷）

- 今回の出水により、瀬戸市鹿乗地区の護岸が約50mにわたり被災しました。

流域図

雨量諸元表

水位諸元表

観測所名	多治見雨量観測所
連続雨量	165mm(6/2～6/3)
最大日雨量	150mm(6/2)
最大時間雨量	34mm(6/2 13:00～14:00)

観測所名	志段味水位観測所
水防団待機水位	3.40m
氾濫注意水位	4.60m
計画高水位	7.50m
今回最高水位	(6月2日16:20)5.56m



台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○河川管理施設の被災状況（被災した護岸の災害復旧工事）

- ・ 出水期後、速やかに工事着手し、次年度の出水期前までに護岸を復旧します。
- ・ 現場へ入るための進入路を設置し、護岸やブロックで被災施設を復旧します。



【復旧作業のための進入路の設置イメージ】

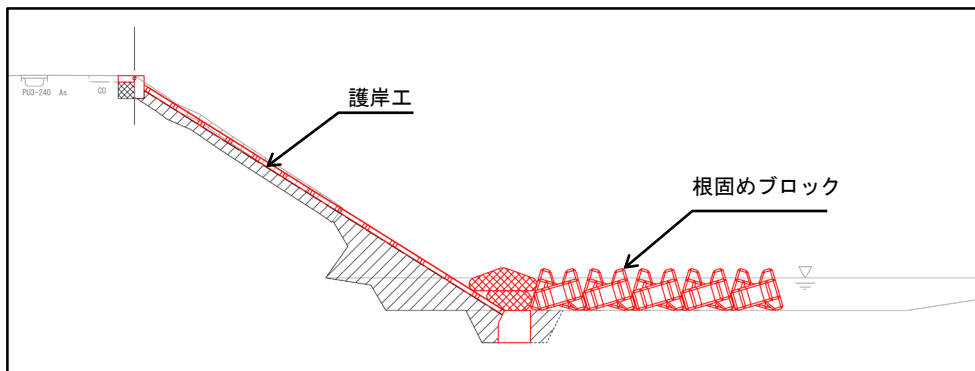


護岸背面の土砂が吸出し(深さ90cm)

※護岸背面の土砂流出防止対策は完了しています。



【護岸復旧イメージ】

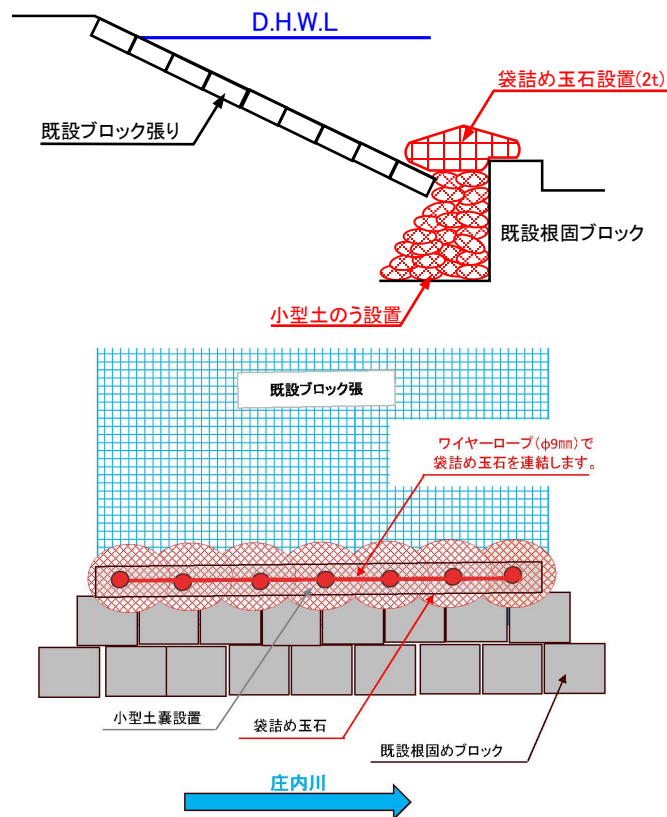


台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨の出水状況について

○河川管理施設の被災状況（応急復旧状況 6月21日(水)完了）

- 次の洪水に備えた応急的な対応は、被災後約2週間で完了しています。
- 護岸背面の土砂流出防止のため、中詰め材をモルタルにして強固にした小型土のう設置や袋詰め玉石を連結して設置しました。

横断図



【6月21日18:00時点 応急復旧工事進捗状況】
土のう製作設置 1050個／1050個(完了)
袋詰め玉石解体再設置 23袋／23袋(完了)



小型土のう設置状況



小型土のうの上に袋詰め玉石設置状況

国土交通省 中部地方整備局

庄内川河川事務所 流域治水課

〒462-0052 愛知県名古屋市北区福德町5-52

TEL 052-914-6711

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/index.php>